■ 文学科　日本語・日本文学コース専門教育科目（3年次編入学生）

聖徳教育 …… S2 3 …… 2
日本文化入門 林 史典　他 …… T2 3 …… 148
日本文学概説Ⅰ 中野 沙惠 …… T2 3 …… 150
日本文学概説Ⅱ 八木 光昭 …… S2 3 …… 151
日本語概説Ⅰ 林 史典 …… T2 3 …… 152
日本語概説Ⅱ 林 史典 …… T2 3 …… 153
日本古典文学史Ⅰ 新藤 協三 …… T2 3 …… 154
日本古典文学史Ⅱ …… T2 4 …… ★
日本近現代文学史Ⅰ 八木 光昭 …… T2 3 …… 156
日本近現代文学史Ⅱ 八木 光昭 …… T2 4 …… 157
日本語の語法Ⅰ 北原 博雄 …… T2 3 …… 158
日本語の語法Ⅱ 北原 博雄 …… T2 4 …… 159
日本語の歴史Ⅰ 佐藤 直人 …… T2 3 …… 160
日本語の歴史Ⅱ 佐藤 直人 …… T2 4 …… 161
日本古典文学の基礎Ⅰ 中野 沙惠 …… T1 3 …… 162
日本古典文学の基礎Ⅱ 中野 沙惠 …… T1 4 …… 163
日本古典文学講読Ⅰ 新藤 協三 …… T2 3 …… 164
日本近現代文学講読Ⅰ 近藤 圭一 …… T2 3 …… 165
比較文学Ⅰ …… T2 4 …… ★
古典語の研究 …… T2 4 …… ★
現代語の研究 …… T2 4 …… ★
漢文学の基礎Ⅰ …… T1 3 …… 166
漢文学の基礎Ⅱ …… T1 3 …… 167
日本語表現法Ⅰ 眞野 須美子・清水 眞澄 …… S1 3 …… 168
日本語表現法Ⅱ 眞野 須美子・清水 眞澄 …… S1 3 …… 169
日本古典文学講読Ⅱ 新藤 協三 …… T2 3 …… 170
日本近現代文学講読Ⅱ 近藤 圭一 …… T1 S1 3 …… 171
言語学概説 佐藤 直人 …… T2 4 …… 172
日本語の音声 北原 博雄 …… S2 3 …… 173
言語学入門 佐藤 直人 …… T2 3 …… 174
世代文化論Ⅰ（子どもと文化）松村 裕子 …… T2 3 …… 175
世代文化論Ⅱ（若者とファッション）菱沼 久恵 …… T2 3 …… 176
世代文化論Ⅲ（若者とポップカルチャー）… T1 S1 4 …… ★
自己表現の技法 …… T1 S1 4 …… ★
環境論 加藤 康夫 …… T2 4 …… 177
イギリスの歴史Ⅱ 原 良子 …… S2 3 …… 113
アメリカの歴史Ⅱ 深沢 俊雄 …… S2 3 …… 114
古典語（ラテン語）Ⅰ 伊藤 笏康 …… S1 3 …… 111
古典語（ラテン語）Ⅱ 伊藤 笏康 …… S1 3 …… 112
西洋文化の源流Ⅰ 菊地 英里香 …… T4 3 …… 134
西洋文化の源流Ⅱ 菊地 英里香 …… T4 4 …… 136
比較文化 安井 泉 …… T4 4 …… 138
異文化間コミュニケーション 安井 泉 …… T4 4 …… 139
ドイツ語Ⅰ 清水 修 …… S2 3 …… 141
ドイツ語Ⅱ 清水 修 …… T2 3 …… 142
フランス語Ⅰ C.G.ブティエ …… S2 3 …… 143
フランス語Ⅱ C.G.ブティエ …… T2 3 …… 144
書写・書道Ⅰ 岩井 秀樹 …… T1 3 …… 234
書写・書道Ⅱ 岩井 秀樹 …… S1 3 …… 235
生涯学習概論 福留 強 …… T2 3 …… 262
図書館概論 村山 隆雄 …… T2 3 …… 263
情報処理技術概論 矢代 寿寛 …… S2 3 …… 264
図書館制度・経営論 石橋 良子 …… T2 4 …… 265
図書館サービス概論 石橋 良子 …… T2 3 …… 266
情報サービス論 山口 洋 …… T2 3 …… 267
児童サービス論 坂部 豪 …… T2 4 …… 269
情報サービス演習Ⅰ 石田 嘉和 …… S1 3 …… 270
情報サービス演習Ⅱ 石田 嘉和 …… S1 3 …… 271
情報資源概論 山口 洋 …… T2 3 …… 272
情報資源組織論 小林 康隆 …… T2 3 …… 273
情報資源組織演習Ⅰ 小林 康隆 …… S1 3 …… 274
情報資源組織演習Ⅱ 岡田 靖 …… S1 3 …… 275
図書館サービス特論 山口 洋 …… S2 4 …… 276
図書館文化史 山口 洋 …… T2 3 …… 277
博物館概論 戸枝 敏郎 …… T2 3 …… 278
博物館経営論 松尾 昌彦 …… T2 3 …… 279
博物館資料論 戸枝 敏郎 …… T2 3 …… 280
博物館資料保存論 戸枝 敏郎 …… T2 3 …… 281
博物館展示論 椎名 仙卓 …… T1 S1 3 …… 282
博物館情報･メディア論 土橋 永一 …… T2 4 …… 283
博物館教育論 倉田 恵津子 …… T2 3 …… 284
博物館実習 戸枝 敏郎 …… S4 4 …… 285

★頁の科目については、決まり次第追ってご連絡します。

No. A013

聖徳教育

2単位　面接

初年次履修科目

『聖徳教育』は、学部正科生（課程正課生及び科目等履修生は除く）の必修科目です。本学独自の科目で、教養を全般的に身につけてもらうため、本学のそれぞれの分野の第一任者の先生がその専門分野に添って、オムニバス形式で講義を行います。本学が持っている知的財産を本学の学生の皆さんに、それぞれの分野で教授する授業です。

2013年度実績

		7月22日(月)	7月23日(火)	7月24日(水)
1	9:00 〜 10:30	奥村 高明 先生 （通信教育部長） 『子どもの見方・大人の見方 〜相互行為分析と学びの生態系〜』	眞壁 哲夫 先生 （人文学部女性キャリア学科長） 『グローバル化を振り返る』	高尾 公矢 先生 （心理・福祉学部福祉学科長） 『諸外国の社会福祉〜NZ〜』
2	10:40 〜 12:10	川並 弘純 先生 （学　　長） 『聖徳学園の建学の精神について』	森　聖雨 先生 （通信教育部顧問） 『新しい学びへのモードの切り替え』	福沢 周亮 先生 （児童学科研究科長） 『言葉の魔術』
3	12:50 〜 14:20	増井 三夫 先生 （副学長） 『多元的な歴史認識 ードイツの教科書を読むー』	藤原 保明 先生 （文学部長） 『奥が深い絵本の英語』	八杉 忠利 先生 （音楽学部演奏学科長） 『日本における西洋音楽の受容と発展史概説』
4	14:30 〜 16:00	池本 真二 先生 （人間栄養学部人間栄養学科長） 『食卓の恐怖： 好奇心をそそる栄養学の歴史』	菅沼 憲治 先生 （心理・福祉学部心理学科長） 『「人生哲学」への道』	佐藤 三郎 先生 （学長補佐） 『忘れ得ぬ卒業時の思い出』
5	16:10 〜 17:40	林 史典 先生 （人文学部長） （人文学部日本文化学科長） 『日本人が日本語を間違える理由』	仲瀬 律久 先生 （児童学部児童学科長） 『和の構築(芸術教育の立場から)』	試　験

※時間は90分
※場所は川並香順記念講堂です。

No. U067

日本文化入門

林　史典 他

「日本文化」とは何か？

2単位　通信

履修条件

なし

学習の目標

「日本文化」の歴史と、その多様性を理解する。
「日本文化」を学ぶための基礎的な技法を修得する。

学習の内容

1．はじめに
2．日本文化の源流
3．古代国家の形成と日本神話
4．仏教の受容とその発展
5．漢風文化から国風文化へ
6．平安時代の仏教
7．鎌倉仏教の成立
8．内乱期の文化
9．国民的宗教の成立
10．近世国家の成立と歴史思想
11．元禄文化
12．儒学の日本的展開
13．国学と洋学
14．近代日本における西洋化と伝統文化
15．まとめ

テキスト教材

尾藤正英『日本文化の歴史』（岩波新書668）2000年

参考書

家永三郎『日本文化史第２版』（岩波新書黄版187）1982年
末木文美士『日本宗教史』（岩波新書1003）2006年

評価の要点

テキストの内容をきちんと理解しているか。
テキストの内容について、学問的な手続きを踏まえてさらに深く調べることが出来ているか。

履修上の注意事項や学習上の助言

まず、テキストを読んで、内容を理解することに努めてください。この時に、難解な語句・専門用語については、必ず辞書・事典類で調べるようにしましょう。

次に、課題に解答するためには、テキストの著者の意見に対して自分なりの考え（賛成か、反対か等）をつくる必要があります。それには、テキストの内容をさらに深く調べることが必須となります。辞書・事典類のみでなく、様々な参考文献（概説書、訳注史料、専門書等）を読み進めて下さい。

なお、参考文献の選び方も重要です。参照すべき文献の一例を「参考書」に示しておきました。学問上の問題がある文献（研究史を踏まえていない、史料批判をしていない等の学問的な手続きに問題があるもの）やインターネット上の情報（ウィキペディア等。同様の問題あり）を利用すれば、レポートの評価も低くならざるを得ません。

レポート課題

課題の指示による　ワープロ可　1600字

⚠ 1課題ずつ別々の用紙で２通レポートを提出すること。

第１課題

いずれか１設題を選択すること。

1 考古学・人類学の研究成果から、日本人の起源を論じなさい。 ヨコ書

2 歴史学における文献資料の限界について述べよ。 ヨコ書 タテ書

3 桓武朝の歴史的意義について、具体的事例をあげて論述しなさい。 タテ書

4 空海と最澄の書について述べよ。 タテ書

5 「漢風文化と貴族文化」について述べなさい。 ヨコ書 タテ書

6 摂関政治体制が女流文学最盛期の基盤になった理由を、具体的作品とのかかわりから述べよ。 タテ書

7 テキスト第八章をふまえ、巻末の参考文献を参考にしながら、日本の祖先祭祀について論じなさい。 ヨコ書 タテ書

第2課題

いずれか1設題を選択すること。

1 紅葉山文庫は江戸城内に設けられた文庫である。紅葉山文庫の概要について整理し、説明しなさい。またこれらの書物の多くは、現在どの機関に所蔵されているかを調べてその状況を説明しなさい。 ヨコ書 タテ書

2 元禄文化について、具体的に作品を挙げながらその特徴を記しなさい。 タテ書 （引用するときは、文献名を明記すること）

3 本居宣長の日本語研究について述べよ。 ヨコ書 タテ書

4 本居宣長の学問について説明せよ。 ヨコ書 タテ書

5 明治政府の推進した「文明開化」（＝近代化）政策は、民衆の生活にどのような影響を与えたのか。具体的事例をあげて論述しなさい。 ヨコ書 タテ書

6 テキスト（218頁～）に、近代文学の作家たちが新しく西洋から入ってきた文化と従来の日本の文化の矛盾に悩んだところから作品を著したと書かれているが、具体的にどういうことだろうか。ここに出ている作家でもよいし、出ていない作家でも構わないが、具体的な作品を挙げて、この部分にその要素が見られると指摘しなさい。 ヨコ書 タテ書

7 第十四章「近代日本における西洋化と伝統文化」中の一章「西洋的近代と伝統との矛盾」に関連して、その論点を永井荷風「曇天」を材料として論述しなさい。 タテ書

8 近代日本美術における西洋化と伝統文化との関係について述べなさい。 ヨコ書

No. U068

日本文学概説Ⅰ

中野　沙恵

古典文学の世界

2単位　通信

履修条件

なし

学習の目標

日本の古典文学に関して、基本的な知識を身につけることを目ざすとともに、古典文学の特性を理解することを目標にします。

学習の内容

1．日本文学の特徴
2．古典文学の素材と表現
3．歌謡
4．和歌
5．連歌
6．俳諧
7．物語
8．草子と軍記物語
9．江戸時代の小説
10．伝記・説話
11．能・狂言
12．浄瑠璃・歌舞伎
13．日記・紀行
14．随筆
15．日本漢詩・日本漢文

テキスト教材

山岸徳平編『日本文学研究のために』（新典社）
山岸徳平『作品中心 日本文学史』（新典社）

参考書

麻原美子他編『日本の文学とことば』（東京堂出版）

評価の要点

レポート評価：課題の意図が正確に読みとれているか、レポートの表記や表現が適切かを評価します。
試験の評価：問題を適確に把握しているか、正確な表現で解答しているかを評価します。

履修上の注意事項や学習上の助言

テキストだけでなく参考書や参考文献をよく読みこんでください。また作品を理解することが大前提ですので、作品もよく読んでください。わからない語句などを放置せず、文学辞典や参考文献、古語辞典などで調べてください。

レポート課題

タテ書　ワープロ可　1600字

第1課題

いずれか1設題を選択

1 万葉風・古今風・新古今風について、それぞれの特徴を説明しなさい。
2 連歌と俳諧のちがいを説明しなさい。
3 平安時代の物語について、その特徴を説明しなさい。
4 「平家物語」および軍記物語についてその特徴を述べなさい。

第2課題

いずれか1設題を選択

1 江戸時代の小説について、代表的な作品と作家とを挙げながら、ジャンルの特徴を述べなさい。
2 中世の能・狂言に対して、近世の浄瑠璃・歌舞伎という劇文学について、そのちがいを述べなさい。
3 日本漢詩が古典文学にどのような影響を与えているかを、具体例をあげて述べなさい。

No. U069

日本文学概説Ⅱ

八木　光昭

日本近代文学の要諦を学ぶ

2単位　面接

履修条件

なし

学習の目標

明治以降の日本近代文学において、日本人は何をどのように描いてきたかを概観することにより、日本文学の、また日本人の特質を理解します。

学習の内容

明治時代に焦点を当て、この間に発表された主要な作品をジャンル別に取り上げ、それらを精読しつつその特質を理解します。

1．オリエンテーション
2．小説（1）戯作文学
3．小説（2）政治小説
4．評論（1）坪内逍遥「小説神髄」
5．小説（3）二葉亭四迷「浮雲」
6．小説（4）尾崎紅葉「金色夜叉」
7．詩（1）新体詩
8．詩（2）近代詩の展開
9．小説（5）国木田独歩「窮死」
10．評論（2）自然主義
11．明治期の随筆
12．明治期の短歌
13．明治期の俳句
14．明治期の翻訳文学
15．まとめ

テキスト教材

スクーリングテキストについては“聖徳通信”でお知らせします。

評価の要点

最終講義の「まとめ」の時間内で試験を課します。

履修上の注意事項や学習上の助言

決められた教材・参考書がありませんから、講義内容をきちんと詳細なノートにとる必要があります。ノート、配布されたプリントは試験時に持ち込み可とします。従って暗記する必要はありませんが、各テーマについて、講義における論旨を明確に把握することが肝要です。

No. U070

日本語概説Ⅰ

林　史典

日本語の文字・音・語彙

2単位　通信

履修条件

なし

学習の目標

日本語の、文字と書記法、音声と音韻、語彙と語彙的特徴について理解する

学習の内容

1．言語と文字
2．漢字の原理
3．漢字の音と訓
4．仮名
5．仮名遣い
6．日本語の書記法
7．日本語の母音と子音
8．日本語の音節構造
9．撥音と促音
10．清・濁の対立とその機能
11．アクセントとその機能
12．語彙と語種
13．語構成
14．類義語と対義語
15．語彙の位相

テキスト教材

北原保雄編『概説日本語』（朝倉書店）

参考書

北原保雄監修『朝倉日本語講座１～10』（朝倉書店）
国語学会編『国語学大辞典』（東京堂出版）
その他、テキストの各章末に記載のある書

評価の要点

レポート：意欲的な勉学が行われているか、課題ごとに基礎的事項が正確に理解されているかを重視する。
試　　験：日本語についての知識と理解が水準に達しているかを判定する。

履修上の注意事項や学習上の助言

母語としての日本語の重要性を認識し、それについて学ぶことの意味をよく理解した上で、意欲的に勉学してください。
テキストや参考書に書かれてある内容をそのまま暗記するのでなく、考え、理解するように努めてください。レポートについても、テキスト・参考書を丸写ししたり、テキスト・参考書の文章をただ繋ぎ合わせただけのものは認められません。

レポート課題

ヨコ書　ワープロ可　1600字

第１課題・第２課題

次の３設題のうち、２設題を選択し提出しなさい。

1 漢字の特徴と仮名の成立について説明しなさい。
2 日本語の音韻的特徴について説明しなさい。
3 日本語の「借用語」と「混種語」について説明しなさい。

No. U071

日本語概説Ⅱ

林　史典

日本語の文法・文体・方言

2単位　通信

履修条件

なし

学習の目標

日本語の、文法的単位と文法規則、敬語法、文体、方言と方言分布について理解する

学習の内容

1．運用文法と学校文法
2．文法の単位
3．品詞
4．活用
5．文の構造
6．主語と主題
7．述語の構造と意味（1）
8．述語の構造と意味（2）
9．修飾
10．敬語法
11．文体
12．共通語と方言
13．方言の区画と分布
14．言語地図
15．方言の音韻・アクセント・語彙・文法

テキスト教材

北原保雄編『概説日本語』（朝倉書店）

参考書

北原保雄監修『朝倉日本語講座１～10』（朝倉書店）
国語学会編『国語学大辞典』（東京堂出版）
その他、テキストの各章末に記載のある書

評価の要点

レポート：意欲的な勉学が行われているか、課題ごとに基礎的事項が正確に理解されているかを重視する。
試　　験：日本語についての知識と理解が水準に達しているかを判定する。

履修上の注意事項や学習上の助言

母語としての日本語の重要性を認識し、それについて学ぶことの意味をよく理解した上で、意欲的に勉学してください。
テキストや参考書に書かれてある内容をそのまま暗記するのでなく、考え、理解するように努めてください。レポートについても、テキスト・参考書を丸写ししたり、テキスト・参考書の文章をただ繋ぎ合わせただけのものは認められません。

レポート課題

ヨコ書　ワープロ可　1600字

第１課題・第２課題

次の３設題のうち、２設題を選択し提出しなさい。

1 述語によって表される文法的概念について説明しなさい。

2 敬語の役割と用法について説明しなさい。

3 日本語の方言分布について説明しなさい。

No. U072

日本古典文学史Ⅰ

新藤　恊三

中古文学の流れ

2単位　通信

履修条件

なし

学習の目標

日本文学史の史的区分の歴史をたどる。上代文学（大和・奈良時代）は、発生から延暦十三年（七九四）平安遷都までを対象とする。例えば『記紀』、『万葉集』、日本最古の漢詩集『懐風藻』および説話集『日本国現報善悪霊異記』等の作品が上代文学史の流れの中でどのような意味をもつのかを把握できるようにする。

学習の内容

1．ガイダンス
2．日本文学の史的区分（1）
3．日本文学の史的区分（2）
4．上代歌謡とは
5．不定型詩から短歌形式へ・・・不定型詩・奇数句形式の歌・片歌・長歌・仏足石歌
6．短歌形式の誕生
7．神話･伝説・説話
8．『古事記』･『日本書紀』･『風土記』
9．『万葉集』
10．一　万葉前期・・・抒情詩の誕生と達成　1）人麻呂以前　2）人麻呂の時代
11．二　万葉後期・・・抒情詩の展開と成熟　1）憶良と旅人　2）家持の時代
12．三　万葉秀歌・・・伝説歌と虫麻呂－浦島子・真間娘子・菟原処女
13．『懐風藻』
14．『日本霊異記』の世界

テキスト教材

金井清一他編『年表資料上代文学史』（笠間書院）
辻英子編『奈良・平安時代文学史Ⅰ』（聖徳大学通信教育部）

参考書

上記の辻テキストの各章あるいは末尾に提示してある。

評価の要点

レポート：「注」を付け引用部分を明示し、用字法（文字の使い方・漢字の用法）を正確に記す。
①　引用文献については、最低限以下の情報を次の順序にしたがって記すことが必要である。
・単行本の場合：著者名、『書名』、出版社、出版年、○○頁
・単行本、雑誌に収録された論文の場合：著者名、「論文名」（『掲載書名』、出版社、出版年）／著者名、「論文名」（『掲載誌名』、号数、出版年）
※論文や単行本は最初に発表された時期が重要である。初出・初版の年次もあわせて記すこと。例、（平成18年〈初版　明治10年〉）
・辞書・新聞・インターネット等もこれに準じる。
②　資料や先行文献を引用する場合：引用文が短い場合は、引用符「　」で囲い、引用文の終わりに（注）番号を付ける。引用が長い場合は、改行して2字下げ、引用の終わりに（注）番号を付ける。
◎注は、各章末または論文の末尾に、（注）番号にしたがって列記する。
○詳細についてはテキスト教材に添付されている「レポート・論文の書き方」を参照のこと。

履修上の注意事項や学習上の助言

1．どのような文学史関係の書物でもよいので、当該範囲を通覧しておくこと。
2．辞書を丹念に引いて表記の確認をすること。
3．「評価の要点」で述べたように、文章化にあたり「注」を付け、自説と他説（先行研究）の区別を明瞭に記すこと。
4．文学史の史的区分　4頁（暗記）
5．上代歌謡の形式　7～13頁（暗記）
6．『古事記』『風土記』の各作品内容の要約
7．『万葉集』の主な作品と作者（暗記）
以上、項目4～7については、通信教育指導書をみること。

レポート課題

タテ書　ワープロ可　2000字

第1課題

1 『古事記』『日本書紀』『風土記』の作品について、関心のあるテーマを設定し、諸論文・著書等を参考にしながら、作品自体をとりあげ、具体的に論じなさい。

第2課題

1 『万葉集』について、その時代性がどのような作品世界を生み出したかについて、諸論文・著書等を参照しながら、自分の考えを具体的に論じなさい。

※レポート作成上の注意
①引用文（原文）には必ず現代語訳を付けること。
②レポートは、各種「小論文の書き方」などを読み、それらを参照しながら、書式（特に、「注記」著者・書名・出版社・引用頁数を明記すること）に則って書くこと。
例…清水幾太郎　『論文の書き方』岩波新書　1983（初版1959）年
③第1課題・第2課題ともに、出典の注を付け、引用部分を示し、自説・他説の区別を明瞭にすること。

No. U074

日本近現代文学史Ⅰ

八木　光昭

明治～大正文学の流れ

2単位　通信

履修条件

なし

学習の目標

明治～大正の近代文学の流れがどのような進展の道筋をたどったのか、その様態のあらましを理解してもらいます。近代日本の目まぐるしく変転する世を生きぬいた先人の「生」の諸相を学ぶことは、我々に多くの示唆を与えてくれることでしょう。

学習の内容

教科書として『現代日本文学史』を用い、教材の学習指導書を併用することによって、明治～大正期の文学の流れをつかんでもらいます。学習指導書には、教科書で言及された作者・作品・文学用語等について最少限の補足解説がなされ、また直接作品の一部が例示されています。履修者は、さらに詳しく事典等を参照し、参考書として取り上げられているものにも触れて理解を深めて欲しいと思います。また、教科書で取り上げられている作品をなるべく多く直接読んで欲しいとも思います。一般図書館でも多く収蔵されているテクストについての注記も施してあります。各章末に掲げた参考課題が解けるかどうかが学習が身についたかどうかの目安となるでしょう。詳しくは、学習指導書の巻頭に記した「履修者の皆さんへ」を読んでください。

1．オリエンテーション
2．明治文学の流れⅠ「文明開化」
3．明治文学の流れⅡ「近代の目ざめ」
4．明治文学の流れⅢ「近代への方途」
5．明治文学の流れⅣ「幻の『近代』」
6．大正文学の流れⅠ「耽美派の文学」
7．大正文学の流れⅡ「『白樺』の人たち」
8．大正文学の流れⅢ「『奇蹟』派、『新思潮』派、そして新現実主義など」
9．大正文学の流れⅣ「明治作家の成熟」
10．大正文学の流れⅤ「民衆・労働者・農民の中へ」
11．自然主義文学と私小説Ⅰ「自然主義文学運動の勃興」
12．自然主義文学と私小説Ⅱ「自然主義文学の確立」
13．自然主義文学と私小説Ⅲ「私小説」
14．まとめⅠ
15．まとめⅡ

テキスト教材

大久保典夫他編『現代日本文学史』（笠間書院）
『近代・現代文学史Ⅰ』（聖徳大学通信教育部）

参考書

学習指導書の各章末を参照のこと。

評価の要点

・レポート評価の要点　①課題について充分理解されていること。②きちんとした論理が展開されていること。③「履修と学習の手引」（聖徳大学通信教育部）所収の「レポートについて」に掲げられている注意事項が守られていること。
・試験評価の要点　①教科書の内容がきちんと理解されていること。

履修上の注意事項や学習上の助言

各章ごとに、教科書を読み、学習指導書を手引きとして実際に作品を読み、参考書等を参照しつつ参考課題を解いて行くことを繰り返すのは、かなりタフな学習です。しかし、かけた苦労だけ確実に豊かな収獲がもたらされます。どうか積極的に取り組んでください。

レポート課題

タテ書　ワープロ可　1600字

第1課題

1　明治期に成立した「小説」とは何か。坪内逍遥『小説神髄』により定義付けした上で、その「小説」が具現化された様態を実作の一部を例示しつつ明らかにしなさい。

第2課題

1　次に掲げる六作品のうち一作品を読んだ上で、その特色と文学史的な意義について述べなさい。（実際に読んだことがわかるよう、文章内容を工夫すること）

①島崎藤村「破戒」　②永井荷風「冷笑」
③徳田秋声「黴」　④森鷗外「澁江抽齋」
⑤夏目漱石「明暗」　⑥有島武郎「或る女」

No. U075

日本近現代文学史Ⅱ

八木　光昭

昭和～戦後文学の流れ

2単位　通信

履修条件

なし

学習の目標

昭和～戦後の近現代文学の流れがどのような進展の道筋をたどったのか、その様態のあらましを理解してもらいます。近代日本の目まぐるしく変転する世を生きぬいた先人の「生」の諸相を学ぶことは、我々に多くの示唆を与えてくれることでしょう。

学習の内容

教科書として『現代日本文学史』を用い、教材の学習指導書を併用することによって、昭和～戦後期の文学の流れをつかんでもらいます。学習指導書には、教科書で言及された作者・作品・文学用語等について最少限の補足解説がなされ、また直接作品の一部が例示されています。履習者は、さらに詳しく事典等を参照し、参考書として取り上げられている著作にも触れて理解を深めて欲しいと思います。また、教科書で取り上げられている作品をなるべく多く直接読んで欲しいとも思います。一般図書館でも多く収蔵されているテキストについての注記も施してあります。各章末に掲げた参考課題が解けるかどうかが学習が身についたかどうかの目安となるでしょう。詳しくは、学習指導書の巻頭に記した「履修者の皆さんへ」を読んでください。

1．昭和文学の流れⅠ「昭和文学の出発と形成」
2．昭和文学の流れⅡ「昭和文学の素地と環境」
3．モダニズム文学の系譜Ⅰ「外来文化の受容の転換、『ハイカラ』から『モダン』へ」
4．モダニズム文学の系譜Ⅱ「新感覚派」
5．モダニズム文学の系譜Ⅲ「新興芸術派」
6．モダニズム文学の系譜Ⅳ「『詩と詩論』から新心理主義へ」
7．プロレタリア文学の展開Ⅰ「『種蒔く人』と『文芸戦線』」
8．プロレタリア文学の展開Ⅱ「ナップの結成とコップへの再編成」
9．転向と文芸復興Ⅰ「転向者の文学」
10．転向と文芸復興Ⅱ「文芸復興とその文学」
11．戦時下の文学Ⅰ「日本浪漫派」
12．戦時下の文学Ⅱ「作家の従軍、文学報国会の結成」
13．昭和二十年代の文学Ⅰ「戦後派文学と無頼派」
14．昭和二十年代の文学Ⅱ「民主主義文学の運動」
15．昭和二十年代の文学Ⅲ「新文学への発展」

テキスト教材

大久保典夫他編『現代日本文学史』（笠間書院）
『近代・現代文学史Ⅱ』（聖徳大学通信教育部）

参考書

学習指導書の各章末を参照のこと。

評価の要点

・レポート評価の要点　①課題について充分理解されていること。②きちんとした論理が展開されていること。③「履修と学習の手引」（聖徳大学通信教育部）所収の「レポートについて」に掲げられている注意事項が守られていること。
・試験評価の要点　①教科書の内容がきちんと理解されていること。

履修上の注意事項や学習上の助言

各章ごとに、教科書を読み、学習指導書を手引きとして実際に作品を読み、参考書等を参照しつつ参考課題を解いて行くことを繰り返すのは、かなりタフな学習です。しかし、かけた苦労だけ確実に豊かな収獲がもたらされます。どうか積極的に取り組んでください。

レポート課題

タテ書　ワープロ可　1600字

第1課題

1　文学史の流れの中で、「新感覚派」が出現した必然性について、具体的な作品・作家に触れつつ述べなさい。

第2課題

1　小林多喜二「蟹工船」あるいは徳永直「太陽のない町」を中心に据えて、プロレタリア文学の特質について述べなさい。

No. U076

日本語の語法Ⅰ

北原　博雄

単文の性質を理解する

2単位　通信

履修条件

なし

学習の目標

主語と述語の組み合わせが一つである単文の構造を、補足語と修飾語の機能、述語の構造に基づいて理解する。

学習の内容

1．文法用語
2．補足語
3．述語と補足語による表現
4．述語の修飾語
5．とりたて助詞
6．ヴォイス表現の形態的性質
7．受動表現と使役表現
8．テンス
9．アスペクト
10．判断系列のムード
11．伝達系列のムード
12．名詞句の構造
13．主語と主題
14．主題句の機能
15．指示語

テキスト教材

益岡隆志『24週日本語文法ツアー』（くろしお出版）1993年

参考書

北原保雄編『朝倉日本語講座５　文法Ⅰ』（朝倉書店）2003年
尾上圭介編『朝倉日本語講座６　文法Ⅱ』（朝倉書店）2004年

評価の要点

レポート：課題を的確に捉え、参考文献も踏まえてまとめているかで評価する。
科目終了試験：論述中心であるので、単に暗記するだけでなく要点を踏まえて他の学説や自身の考えなども述べること。

履修上の注意事項や学習上の助言

レポート、科目終了試験：テキストを繰り返し読み、図書館などで他の文献を調べて作成するのが望ましい。

レポート課題

ヨコ書　ワープロ可　課題の指示による

第１課題　1000字

1　「空が真っ赤に見える」の「真っ赤に」と、「柿が真っ赤に熟した」の「真っ赤に」との修飾の仕方の違いを説明せよ。

第２課題　1600字

1　とりたて助詞（あるいは副助詞）の「は」が持つ主題という機能について具体例を挙げながら説明せよ。

No. U077

日本語の語法Ⅱ

北原　博雄

複文の性質と、品詞分類の原理について理解する

2単位　通信

履修条件

なし

学習の目標

主語と述語の組み合わせが複数ある複文の性質、および、語を品詞に分類する方法について理解する。

学習の内容

1．複文構造
2．補足節
3．副詞節－その１－
4．副詞節－その２－
5．連体節
6．並列節
7．品詞と語構造
8．動詞
9．形容詞・形容動詞
10．名詞と判定詞
11．副詞
12．助詞
13．助動詞
14．接続詞・連体詞・感動詞
15．敬語、および、言葉遣いの男女差

テキスト教材

益岡隆志『24週日本語文法ツアー』（くろしお出版）1993年

参考書

北原保雄編『朝倉日本語講座５　文法Ⅰ』（朝倉書店）2003年
尾上圭介編『朝倉日本語講座６　文法Ⅱ』（朝倉書店）2004年

評価の要点

レポート：課題を的確に捉え、参考文献も踏まえてまとめているかで評価する。
科目終了試験：論述中心であるので、単に暗記するだけでなく要点を踏まえて他の学説や自身の考えなども述べること。

履修上の注意事項や学習上の助言

レポート、科目終了試験：テキストを繰り返し読み、図書館などで他の文献を調べて作成するのが望ましい。

レポート課題

ヨコ書　ワープロ可　課題の指示による

第１課題　1200字

1　「花子が結婚した鈴木君」は非限定的修飾とも制限的修飾とも解釈可能である。両方の修飾がどのようなものであるかがわかるように、例文を解釈せよ。

第２課題　1000字

1　「見る」と「書く」の活用をローマ字表記で記述し、語幹と語尾を指摘し、五段活用、一段活用のどちらであるかを答えよ。

No. U078

日本語の歴史Ⅰ

佐藤　直人

音韻の変遷

2単位　通信

履修条件

なし

学習の目標

歴史的仮名遣いで書かれたものは、なぜ現代語の発音や仮名遣いで書かれたものと大きく異なるのか、その理由を音韻の変遷という観点から理解できること

学習の内容

キーワードを中心に音韻の変遷の大きな流れを大まかに理解するようにしてください。

1．表音主義であるはずの現代仮名遣いに見られる非整合性への注意
2．古辞書や外国資料を活用した音韻の復元
3．方言音声の音韻史上の価値
4．定家仮名遣い、契沖仮名遣いと歴史的仮名遣い
5．上代特殊仮名遣い
6．音配列上のアルタイ的特徴
7．駒のいななき：ハ行頭子音の変遷
8．すずめしうしう：サ・タ行頭子音の変遷
9．なぜロシア人は大黒屋光太夫をインド人だと思ったのか
10．オ列長音の開音と合音
11．音便の発生とハ行転呼
12．音韻体系
13．音韻変化の要因
14．内的再建の方法
15．まとめ

テキスト教材

沖森卓也『はじめて読む日本語の歴史』（ベレ出版）

評価の要点

理解したことを自分の言葉で説明できる、という点を重視します。特に論理関係を明確にレポートで記述できているということを期待します。

履修上の注意事項や学習上の助言

音声学の知識が必要となりますが、実際にどのような発音かを知るためにはPeter Ladefogedのインターネットサイトなどが役に立ちます。発音記号の理解を深めて古代の発音がどのようなものだったと考えられるか、よく理解してください。レポート作成の際にはテキストを十分読むとともに、わからないことは図書館で調べるなどしてください。

レポート課題

タテ書　ワープロ可　1600字

第1課題

1　現代仮名遣いに残る歴史的仮名遣いの「名残」を可能な限り列挙し、それらを歴史的観点から説明しなさい。

第2課題

1　上代の音韻と現代の音韻を比較し、その違いを詳しく述べなさい。

＊引用を正しく行い、参考文献を示すこと。
　コピー・ペーストによるものは失格とする。

No. U079

日本語の歴史Ⅱ

佐藤　直人

語彙と文法の変遷

2単位　通信

履修条件

なし

学習の目標

具体例に基づいて語彙と文法の歴史が辿れるようになること目標とします。

学習の内容

1．古代の語彙体系の特徴
2．漢語・外来語という借用による語彙体系の変化
3．語種の多様化
4．音変化による語形変化
5．動詞の活用の変遷
6．形容詞の活用の変遷
7．係り結びの発生から消失まで
8．ヴォイスの変化
9．アスペクトの変化
10．テンスの変化
11．モダリティの変化
12．準体法と作用性反発の法則
13．上代語の統語構造
14．格助詞の変化
15．まとめ

テキスト教材

林史典（他）『改訂版日本語要説』（ひつじ書房）

評価の要点

理解したことを自分の言葉で説明できる、という点を重視します。特に論理関係を明確にレポートで記述できているということを期待します。

履修上の注意事項や学習上の助言

レポート作成の際にはテキストを十分読むとともに、わからないことは図書館で調べるなどしてください。

レポート課題

タテ書　ワープロ可　1600字

第1課題

1　準体法について例を挙げて詳しく説明しなさい。さらに、「作用性反発の法則」について説明しなさい。

第2課題

1　テンス・アスペクトの助動詞の歴史的変化について詳しく説明しなさい。

＊引用を正しく行い、参考文献を示すこと。
　コピー・ペーストによるものは失格とする。

No. U080

日本古典文学の基礎Ⅰ

中野　沙恵

お伽草子をよむ

1 単位　通信

履修条件

なし

学習の目標

日本の古典文学を理解するために必要な基礎的な知識などを習得し、古典文学作品に慣れることを目ざします。Ⅰでは、近世初めに出された『御伽草子』の中の「浦島太郎」を読むことを通じて、古典に関わる基礎的な知識を学ぶことを目標とします。

学習の内容

1．古典文学について
2．御伽草子について
3．「浦島太郎」をよむ
　（1段）旧国名・四段活用の動詞
4．（2段）形容詞・尊敬の表現
5．（3段）係り結び、助動詞「けり」
6．（4段）慣用表現
7．（5段）「長恨歌」と古典文学
8．（6段）四季の庭・物づくしの表現
9．（7段）丁寧語・「未然形＋ば」（仮定表現）
10．（8・9段）和歌の表現
11．（10段）上一段・下二段・ラ変の動詞
12．（11・12段）助動詞（過去・完了）、サ変動詞
13．（13・14段）打消の助動詞、「衆生済度」
14．（15段）「夫婦の明神」になること
15．まとめ

テキスト教材

藤掛和美『お伽草子入門』（和泉書院）

参考書

大島健彦『御伽草子集』（日本古典文学全集）
徳田和夫『お伽草子事典』

評価の要点

レポート評価：それぞれの特徴が理解できているか。課題の意図を正確に読みとっているか。特にレポートの表記については自他の意見の区別がわかるように書いて下さい。
試験評価：問題を適確に把握しているか、正確な表現で解答されているかを、特に評価します。

履修上の注意事項や学習上の助言

テキストにあわせて参考書類や文法（古典）〔中学・高等学校で使用した副本で可〕を調べ、自分で口語訳して下さい。参考書の口語訳を参考にしても可。シラバスの一項目ずつを自分で確認しながら先に読み進めて下さい。

レポート課題

タテ書　ワープロ可　2000字

第1課題

1つの設題を選び、答えなさい。

1　白楽天の漢詩「長恨歌」が、日本の古典文学に与えた影響について述べなさい。

2　「浦島太郎」（御伽草子）と浦島伝説について、その関係を具体的に述べなさい。

3　本作以外の御伽草子について、作品を読んで本作と共通する点、相異点を述べなさい。

※　文献からの引用は、必ず引用とわかる形で示し、著者名・書名・刊年・出版者名を示すこと。また、自分の説と他人の説とを明確に分けて書いてください。

No. U081

日本古典文学の基礎Ⅱ

中野　沙恵

百人一首をよむ

1 単位　通信

履修条件

「日本古典文学の基礎Ⅰ」を修了していること

学習の目標

日本の古典文学を理解するために必要な基礎的な知識などを習得し、古典文学の作品に慣れることを目ざします。Ⅱでは、親しまれている「百人一首」の和歌を読み味わい、あわせて、古典に関わる基礎的な知識を学ぶことを目標とします。

学習の内容

1．古典と和歌（和歌の特徴）
2．百人一首と王朝和歌について
3．和歌の表現技法について
4．主要な語について
5．歌枕について
6．語法について（1）助動詞
7．語法について（2）助動詞
8．語法について（3）助詞
9．天皇の歌
10．貴公子の歌
11．女流歌人の歌（1）
12．女流歌人の歌（2）
13．僧侶の歌
14．四季の歌
15．まとめ

テキスト教材

鈴木日出男『百人一首』（ちくま文庫）

参考書

島津忠夫『百人一首』（角川文庫）
吉海直人『百人一首研究ハンドブック』（おうふう）
目崎徳衛『百人一首の作者たち』（角川選書）
鈴木日出男『古代和歌の世界』（ちくま新書）

評価の要点

レポート評価：課題の意図を正確に読みとっているか。レポートは適切に表記しているか、を評価します。
試験評価：問題を適確に把握しているか。正確な表現・表記で解答されているか、を評価します。

履修上の注意事項や学習上の助言

テキストと参考書をよく読んでください。また、百人一首を自分で口語訳してください。それぞれの和歌で出ている言葉や表現について、よく調べてください。百人一首を理解することは、古典文学の基礎の理解につながります。なお、和歌の「詞書」も、必ず口語訳してください。その和歌の生まれた事情がわかります。

レポート課題

タテ書　ワープロ可　2000字

第1課題

いずれか1設題を選択すること。

1　和歌の歴史について簡潔にまとめなさい。
2　和歌が後代の古典文学に与えた影響について述べなさい。
3　歌枕について説明し、あわせて後代の古典文学に与えた影響について述べなさい。

No. U082

日本古典文学講読Ⅰ

新藤　協三

百人一首を通して和歌を学ぶ

2単位　通信

履修条件

なし

学習の目標

古典文学の中核である和歌を、百人一首を対象にして学習する。百人一首が成立するまでの経緯をも理解することで、単に和歌を解釈、鑑賞する以上の、日本古典文学が今日まで伝存することの意義や、その存在感の大きさをも把握することにもなる。

学習の内容

1．承久の乱と後鳥羽・順徳両院の処遇
2．新勅撰和歌集の切出し歌
3．明月記文暦２年５月27日の記事
4．蓮生の依頼と色紙染筆
5．小倉山荘と嵯峨中院
6．百人秀歌の発見
7．百人秀歌との共通点と相違点
8．百人一首と百人秀歌の先後
9．小倉色紙の謎
10．百人一首選入歌人の是非
11．百人一首選入歌の是非
12．人麿・貫之の選入歌と世評
13．定家の嗜好①恋歌の重視
14．定家の嗜好②幽玄と有心
15．文学史上の位置と意義

テキスト教材

吉海直人『百人一首への招待』（ちくま新書182、筑摩書房）

参考書

島津忠夫『百人一首』（角川文庫）
松村雄二『百人一首　定家とカルタの文学史』（平凡社）

評価の要点

レポート･･･１　教材の内容をよく理解し、参考文献を有効に活用しているか。
　　２　論理的な文章で、表現したい内容が過不足なく述べられているか。
試　　験･･･１　基礎的な知識を十分に理解しているか。
　　２　教材の内容を正しく理解し、自己の論旨に応用し得ているか。

履修上の注意事項や学習上の助言

学習の内容（１～15）は、ほぼ教科書に触れられているが、参考書をも併せ参照することで、より深い理解が可能となる。また、教科書・参考書に引用された他の文献などにも積極的に目を通すなどして、百人一首の抱える問題点、学術上の課題などについても概観しておきたい。

レポート課題

タテ書　ワープロ可　2000字

第１課題

1　百人一首が成立するまでの経緯のうち、学習の内容（１～15）から興味のある問題点を１つ選び、具体的な根拠を添えて自己の見解を述べよ。

第２課題

1　百人一首のうちの任意の１首について、解釈に必要な語法・語釈を添えて口語訳し、かつ、当該歌が詠出された背景にも触れて、鑑賞文を記せ。

No. U083

日本近現代文学講読Ⅰ

近藤　圭一

戦前の文学を読む

2単位　通信

履修条件

なし

学習の目標

文学を読むということは、高校の国語で勉強したように、単に書いてあることをなぞり、「登場人物の感情の移り変わり」などといったものを追っていくものではありません。特に近代の文学では、外国の文学や哲学、あるいは美術や音楽といった、日本文学ではない分野の教養が求められます。そして、文学が近代の複雑な社会を生きる人間を描くものであるとするならば、それを読む際には歴史や政治、経済といった社会的な知識も必要です。近代文学の講義を受けてみれば、今まで受けてきた高校などの「国語」の授業と文学を読むこととは根本的に異なることがわかるでしょう。

此の時間では何人かの作家や詩人を取り上げて、そのサワリを味わいつつ、文学に向き合うとはどういうことか考えていきたいと思っています。

学習の内容

一般的に言って文学を読むためには色々な知識と知性が必要です。「学習の目標」の項にもありますが、外国の文学や哲学、美術や音楽、そして歴史や政治、経済といった分野の知識まで動員しなければなりません。もちろん、ある文学作品に感動したり、あるいはその作品を人生の師のようにしてそこから教訓を得たりすることもあるでしょう。しかし、それでは個人的な感想の域から出ることがありません。ここで言う「文学を読む」とは、人にそのような感動を与える作品をもっと普遍的に分析することです。

この時間では、大正時代から終戦までの時期に書かれた近代の日本文学を取り扱います。学んでほしい項目を列挙しておきます：

1．明治の終わりと大正の始まり
2．漱石の死と芥川龍之介の登場
3．小説の神様―志賀直哉
4．第一次世界大戦と日本の社会と文学
5．大衆小説の勃興
6．或る女―有島武雄の生涯
7．鷗外の死、関東大震災と文学
8．プロレタリア文学の勃興
9．新感覚派の登場―横光利一
10．大正から昭和へ
11．老大家の活躍
12．小林秀雄
13．太宰治の登場
14．堀辰雄をめぐって
15．戦争と文学

テキスト教材

『新集 近代の小説』（株式会社おうふう）

参考書

加藤周一『日本文学史序説（下）』、『日本文学史序説（補講）』（ちくま学芸文庫）
※『大正文学史』『昭和文学史』（いずれも筑摩叢書。目下絶版ですが、手に入るようならとても勉強になります。）
『近代文学大事典』

評価の要点

主題設定、調査の緻密さ、読解の独自性、意見の客観性などで判定します。

自ら読み、よくよく考えること。サイトの引き写しは原則として評価の対象にならないと思って下さい。参考書をそのまま引用する際は、必ず引用であることを形式として明らかにし、誰の何という本から引用したか明示すること。それ以外は、必ず自分で文献を一度咀嚼し、その要点のみを記述すること。そうすれば、決してコピペにはならない筈です。自分の目で文学の妙味を味わうまでいければしめたものです。

履修上の注意事項や学習上の助言

「評価の要点」にもありますが、第一に文学を読むこと。そして、そこに出てくる事柄について調べること。その作家について、どういう生涯を送ったか、どういう思潮的傾向を閲しているか調査すること。その上で、何か心惹かれること、興味が湧くこと、或いは疑問に思うことなどを見つけ出すこと。ちゃんと調べれば、何かしら必ずあるはずです。それがレポートの主題になります。

インターネットのサイトは便利ですが、間違いがゴロゴロしています。そんなものを信用してはいけません。必ず図書館に行き、本に当たること。それらの文献を調べ、自分の中で咀嚼すること。そして、そこに自分の見解を付加すること。そうすれば、絶対にコピペになるはずがありません。もし何かのサイトの文章がそのまま断りなしに引用されているのなら、それは以上の手順のどこかを手抜きしたものです。このようにすれば、よい学習ができるでしょう。詳しくは、簡単な手引きを書くので、それを参照すること。

レポート課題

ヨコ書　タテ書　ワープロ可　1600字

第1課題

1　教科書所収の作品のうち、大正時代に書かれた作品を一つ選び、主題を設定して論じなさい。その際、教科書に収録されている別の文学者またはその作品、及び教科書に収録されていない文学者またはその作品の二項目について必ず言及すること。

第2課題

1　教科書所収の作品のうち、昭和元年から昭和20年までに書かれた作品を一つ選び、主題を設定して論じなさい。その際、教科書に収録されている別の文学者またはその作品、及び教科書に収録されていない文学者またはその作品の二項目について必ず言及すること。

No. U089

漢文学の基礎Ⅰ

漢文学へのいざない

1 単位　通信

履修条件

なし

学習の目標

漢文学を読解するのに必要な基礎知識の整備を図り、思想・歴史・文学の各ジャンルにわたって具体的に作品を読解することで、漢文学についての理解を深める。

学習の内容

日本人が漢文を読む際に採用した漢文訓読について知見を深めるとともに、思想・歴史・文学の各ジャンルから代表的人物や作品を取り上げ、その特色について考察する。

1．訓読とは何か
2．訓読の歴史
3．春秋・戦国時代の思想Ⅰ－孔子と『論語』
4．春秋・戦国時代の思想Ⅱ－孟子・荀子
5．春秋・戦国時代の思想Ⅲ－道家
6．春秋・戦国時代の思想Ⅳ－法家・墨家
7．春秋・戦国時代の歴史書Ⅰ－『左伝』
8．春秋・戦国時代の歴史書Ⅱ－『戦国策』
9．漢代の歴史文学Ⅰ－司馬遷の生涯
10．漢代の歴史文学Ⅱ－『史記』項羽本記
11．漢代の歴史文学Ⅲ－『史記』刺客列伝
12．中国の散文Ⅰ－四六駢儷文
13．中国の散文Ⅱ－唐代の古文
14．中国の散文Ⅲ－宋代の古文
15．まとめ

テキスト教材

中村璋八編『原典対照　中国思想文学通史』（明治書院）1984

参考書

金文京『漢文と東アジア－訓読の文化圏』（岩波新書）2010
前野直彬編『中国文学史』（東京大学出版会）1975

評価の要点

・レポート評価：教科書と参考書をよく読み、要点を的確に把握しているか。
・試験評価：問題を的確に捉え、適切な表現で論述しているか。

履修上の注意事項や学習上の助言

テキストだけではすべての分野をカバーできないので、必ず参考書やその他の関連文献も読むこと。実際に、作品を読むことが重要である。

レポート課題

タテ書　ワープロ可　1600字

第1課題

いずれか1設題を選択

1　訓読の歴史について述べなさい。
2　孔子の思想と『論語』の特色について述べなさい。
3　『史記』の特色について説明しなさい。
4　中国の散文の変遷について説明しなさい。

No. U090

漢文学の基礎Ⅱ

漢文学へのいざない

1 単位　通信

履修条件

なし

学習の目標

漢文を読解するのに必要な基礎知識の整備を図り、思想・歴史・文学の各ジャンルにわたって具体的作品を読解することで、漢文学についての理解を深める。

学習の内容

「漢文学の基礎Ⅰ」の学習成果を踏まえつつ、思想・歴史・文学の各ジャンルから代表的人物や作品を取り上げ、その特色について考察する。

1．周代の文学－『詩経』
2．漢魏六朝（魏晋南北朝）の詩Ⅰ－古楽府・古詩
3．漢魏六朝（魏晋南北朝）の詩Ⅱ－建安詩
4．漢魏六朝（魏晋南北朝）の詩Ⅲ－陶淵明と修辞主義の文学
5．唐詩の世界Ⅰ－初唐
6．唐詩の世界Ⅱ－盛唐
7．唐詩の世界Ⅲ－中唐
8．唐詩の世界Ⅳ－晩唐
9．宋詩の世界－北宋詩と南宋詩
10．中国の古典小説Ⅰ－志怪小説
11．中国の古典小説Ⅱ－伝奇小説
12．日本漢文Ⅰ－平安朝の漢文学
13．日本漢文Ⅱ－五山文学
14．日本漢文Ⅲ－江戸期の漢詩人
15．まとめ

テキスト教材

中村璋八編『原典対照　中国思想文学通史』（明治書院）1984

参考書

前野直彬編『中国文学史』（東京大学出版会）1975
林田慎之助『漢詩のこころ　日本名作選』（講談社現代新書）2006

評価の要点

・レポート評価：教科書と参考書をよく読み、要点を的確に把握しているか。
・試験評価：問題を的確に捉え、適切な表現で論述しているか。

履修上の注意事項や学習上の助言

テキストだけではすべての分野をカバーできないので、必ず参考書やその他の関連文献も読むこと。実際に、作品を読むことが重要である。

レポート課題

タテ書　ワープロ可　1600字

第1課題

いずれか1設題を選択

1 魏晋南北朝時代の五言詩の展開について説明しなさい。
2 唐詩の特色を、四期に分けて説明しなさい。
3 志怪小説と伝奇小説の特色について説明しなさい。
4 日本漢詩の特色について、具体的に詩人を例にあげて説明しなさい。

No. U091

日本語表現法Ⅰ

眞野　須美子・
清水　眞澄

日本語の表現能力を高めるために・基礎篇

1 単位　面接

履修条件

なし

学習の目標

日本語表現にかかわるいくつかの事項を、「書く」「話す」の二つの領域にわたって取り上げ、日本語の表現能力を高めるための知識と技術の習得を目指す。

学習の内容

この授業では、日本語表現に関する基本的な事柄について学習する。具体的な内容と担当者は以下の通り。
1．日本語の表記規則（坂口）
2．文章の構成（眞野）
3．朗読を中心とした音声表現（清水）

テキスト教材

スクーリングテキストについては“聖徳通信”でお知らせします。

評価の要点

授業の内容に関連した三題の課題の中から一題を選んでレポートを提出してもらい、それによって評価する。

履修上の注意事項や学習上の助言

面接授業は短期間なので欠席をしないこと。
レポートは期日までに郵送のこと。

No. U092

日本語表現法Ⅱ

眞野　須美子・
清水　眞澄

日本語の表現能力を高めるために・応用篇

1 単位　面接

履修条件

なし

学習の目標

日本語表現にかかわるいくつかの事項を、「書く」「話す」の二つの領域にわたって取り上げ、日本語の表現能力を高めるための知識と技術の習得を目指す。

学習の内容

この授業では、日本語表現に関する応用的な事柄について学習する。具体的な内容と担当者は以下の通り。
1．敬語の基本と用法上の留意点（坂口）
2．ＯＡ機器のための日本語表現／日本語プレゼンテーション（眞野）
3．作家の文体論（清水）

テキスト教材

スクーリングテキストについては“聖徳通信”でお知らせします。

評価の要点

授業の内容に関連した三題の課題の中から一題を選んでレポートを提出してもらい、それによって評価する。

履修上の注意事項や学習上の助言

面接授業は短期間なので欠席をしないこと。
面接授業内で指示したレポートは期日までに郵送のこと。

No. U095

日本古典文学講読Ⅱ

新藤　恊三

原文から読み解く和泉式部日記

2単位　通信

履修条件

なし

学習の目標

日本の古典文学作品は、もとは写本として伝存し、それらの変体仮名で書かれた原典を校訂本文に直す作業を経て、現在見るような活字本で読んでいる。この講座は、変体仮名を現行文字に翻刻したのみのテキストを用いて、句読点・濁点を付し、足りない送り仮名を補い、圧倒的に多い平仮名を適宜漢字に改めるなどの作業を経て、古文特有の文章に慣れることを目指す。

学習の内容

1．古典のテキストと変体仮名
2．変体仮名の発生
3．複数の字母と一音多字の世界
4．古典籍の文章①句読点・濁点の無表示
5．古典籍の文章②送り仮名の省略、少ない漢字
6．校訂本文作成の要点と現行活字本テキスト
7．和泉式部日記のテキスト－三条西家本と異本
8．和泉式部の生涯①家系・父母・娘
9．和泉式部の生涯②二度の結婚・宮仕え
10．和泉式部日記の世界－たった二人の世の中
11．日記の冒頭と執筆の動機
12．弾正宮追慕から帥宮へと揺れる心
13．贈答歌応酬に見る女心の変化
14．帥宮邸入りと周囲の軋轢
15．帥宮追悼の孤愁－家集の帥宮哀悼歌群

テキスト教材

平田喜信『和泉式部日記』（影印校注古典叢書22、新典社）

参考書

中嶋尚『和泉式部日記全注釈』（笠間書院）
近藤みゆき『和泉式部日記』（角川ソフィア文庫）
川村裕子『和泉式部日記』（角川文庫）
井上宗雄他『日本古典籍書誌学辞典』（岩波書店）

評価の要点

レポート･･･1　教材の内容をよく読解し、参考文献を有効に活用しているか。
　　2　論理的な文章で、表現したい内容が矛盾なく正確に述べられているか。
試　　験･･･1　基礎的知識を十分に理解し得ているか。
　　2　設問に対して的確に解答しているか。

履修上の注意事項や学習上の助言

テキストは写本の文字をそのまま活字に移したもので、きわめて読解しにくいので、先ずは古文特有の言い回しや口調に習熟することが要請される。そのためには、古語辞典を丹念に検索するなど地味な努力を必要とするが、和泉式部日記は刊行されている注釈書も多いので、それらに安易に依拠すると、古文読解の基礎的学力が身に付かないということは、しっかり銘記しておく必要がある。

レポート課題

タテ書　ワープロ可　2000字

第1課題

1　①テキスト11ページ1行目～12ページ7行目「ゆめよりも…とかたる」、②テキスト23ページ1行目～24ページ3行目「つこもりの…あかしつ」の①・②のいずれか1つについて、校訂本文（句読点・濁点・送り仮名を補い、適宜漢字を宛てる）に直し、口語訳せよ。語釈は不要とするが、難語句について言及することは可。

第2課題

1　学習の内容のうち、8～15の中の興味ある問題点を1つ選び、原文を引用するなど客観的根拠を掲げて、自己の見解を述べよ。

No. U098

日本近現代文学講読Ⅱ

近藤　圭一

戦後の文学を中心に読む

2単位　通信　面接

履修条件

なし。ただし、通信を優先し、面接はその後にするように。

学習の目標

文学を読むということは、高校の国語で勉強したように、単に書いてあることをなぞり、「登場人物の感情の移り変わり」などといったものを追っていくものではありません。特に近代の文学では、外国の文学や哲学、あるいは美術や音楽といった、日本文学ではない分野の教養が求められます。そして、文学が近代の複雑な社会を生きる人間を描くものであるとするならば、それを読む際には歴史や政治、経済といった社会的な知識も必要です。近代文学の講義を受けてみれば、今まで受けてきた高校などの「国語」の授業と文学を読むこととは根本的に異なることがわかるでしょう。

此の時間では何人かの作家や詩人を取り上げて、そのサワリを味わいつつ、文学に向き合うとはどういうことか考えていきたいと思っています。

学習の内容

一般的に言って文学を読むためには色々な知識と知性が必要です。「学習の目標」の項にもありますが、外国の文学や哲学、美術や音楽、そして歴史や政治、経済といった分野の知識まで動員しなければなりません。もちろん、ある文学作品に感動したり、あるいはその作品を人生の師のようにしてそこから教訓を得たりすることもあるでしょう。しかし、それでは個人的な感想の域から出ることがありません。ここで言う「文学を読む」とは、人にそのような感動を与える作品をもっと普遍的に分析することです。

この時間では、終戦から現在までに書かれた近代の日本文学を主に取り扱います。学んでほしい項目を列挙しておきます：

通信
1．戦争と文学
2．終戦と文学。文学者の戦争責任
3．アプレゲールの文学
4．戦後の社会と文学
5．もはや戦後は終わった―第三の新人
6．大江健三郎と政治の季節
7．三島由紀夫の死

面接
8．詩と音楽―朔太郎と口語自由詩
9．中原中也
10．社会と文学―プロレタリア文学概論
11．中野重治
12．葉山芳樹
13．『最後の授業』―誤読の典型
14．外地の文学

テキスト教材

通信部分は『新集 近代の小説』（株式会社おうふう）、面接部分はプリントを配布します。

参考書

加藤周一『日本文学史序説（下）』、『日本文学史序説（補講）』（ちくま学芸文庫）
※『大正文学史』『昭和文学史』（いずれも筑摩叢書。目下絶版ですが、手に入るようならとても勉強になります。）
『近代文学大事典』

評価の要点

主題設定、調査の緻密さ、読解の独自性、意見の客観性などで判定します。

自ら読み、よくよく考えること。サイトの引き写しは原則として評価の対象にならないと思って下さい。参考書をそのまま引用する際は、必ず引用であることを形式として明らかにし、誰の何という本から引用したか明示すること。それ以外は、必ず自分で文献を一度咀嚼し、その要点のみを記述すること。そうすれば、決してコピペにはならない筈です。自分の目で文学の妙味を味わうまでいければしめたものです。

履修上の注意事項や学習上の助言

「評価の要点」にもありますが、第一に文学を読むこと。そして、そこに出てくる事柄について調べること。その作家について、どういう生涯を送ったか、どういう思潮的傾向を閲しているか調査すること。その上で、何か心惹かれること、興味が湧くこと、或いは疑問に思うことなどを見つけ出すこと。ちゃんと調べれば、何かしら必ずあるはずです。それがレポートの主題になります。

インターネットのサイトは便利ですが、間違いがゴロゴロしています。そんなものを信用してはいけません。必ず図書館に行き、本に当たること。それらの文献を調べ、自分の中で咀嚼すること。そして、そこに自分の見解を付加すること。そうすれば、絶対にコピペになるはずがありません。もし何かのサイトの文章がそのまま断りなしに引用されているのなら、それは以上の手順のどこかを手抜きしたものです。このようにすれば、よい学習ができるでしょう。詳しくは、簡単な手引きを書くので、それを参照すること。

レポート課題

ヨコ書　タテ書　ワープロ可　1600字

第1課題

1　教科書所収の作品のうち、昭和20年以降に書かれた作品を一つ選び、主題を設定して論じなさい。その際、教科書に収録されている別の文学者またはその作品、及び教科書に収録されていない文学者またはその作品の二項目について必ず言及すること。

No. U103

言語学概説

佐藤　直人

言語学の諸領域及び個別言語の対照

2単位　通信

履修条件

なし

学習の目標

言語学の理論と分析の実際を知ること

学習の内容

1．記号体系の中での言語の特色
2．言語の多様性
3．調音音声学
4．構造主義音韻論
5．生成音韻論
6．形態論の基礎
7．語形成
8．意味とはなにか・真理条件的意味論
9．成分分析
10．スピーチ・アクト理論
11．グライスの協調公理
12．統語論の基礎
13．変形文法
14．ミニマリスト・プログラム
15．まとめ

テキスト教材

斎藤純男『言語学入門』（三省堂）

評価の要点

テキストの内容をどの程度理解しているかで評価します。

履修上の注意事項や学習上の助言

レポート作成の際にはテキストを十分読むとともに、わからないことは図書館で調べるなどしてください。

レポート課題

ヨコ書　ワープロ可　字数制限なし

第1課題

1　言語は記号体系の中でどのような特色を持つか、ソシュールやマルティネなどの考え方に触れながら説明しなさい。

第2課題

1　「青空文庫」にある小説から一つ選び、そこから複文を10個選び出しなさい。さらにそれに統語的分析と形態論的分析を加えなさい。

＊引用を正しく行い、参考文献を示すこと。
　コピー・ペーストによるものは失格とする。

No. U104

日本語の音声

北原　博雄

日本語の音声学的、音韻論的な性質を理解する

2単位　面接

履修条件

なし

学習の目標

音声器官を用いてどのように言語音を産出するか、日本語に必要な音はどのようなものがあるか、アクセントやイントネーションはどのような機能を持っているかという３点を中心に理解する。

学習の内容

1．言語の研究と音声の研究
2．発音器官
3．母音
4．子音
5．音素
6．音素体系
7．音節とモーラ
8．日本語と英語の音の構造
9．音節構造
10．語アクセント
11．アクセント付与規則
12．形態構造とアクセント
13．文アクセント
14．リズム
15．イントネーション

テキスト教材

スクーリングテキストについては“聖徳通信”でお知らせします。

参考書

斎藤純男『日本語音声学入門』（三省堂）

評価の要点

スクーリング：最終日に試験を行う。

履修上の注意事項や学習上の助言

スクーリング：予めテキストを通読し、他の文献にも目を通しておくこと。質問、意見などを準備しておくことが望ましい。

No. U107

言語学入門

佐藤　直人

日本語からことば一般のしくみを考える

2単位　通信

履修条件

なし

学習の目標

ことばの仕組みを扱う「言語学」とはどのような学問かを知ること

学習の内容

1．日本語は世界で一番難しい？
2．言葉の変化は止めれない
3．漢字なんていらない？
4．布団をひきますか？
5．マジで？
6．はっきり言えよ、みたいな
7．自分、神戸やろ？
8．人間の証明
9．今何時？
10．英語が一番？
11．日本語ひとりぼっち
12．名は体を表す
13．焼きねぎかねぎ焼きか
14．ひどくきれいね
15．言葉のひみつ

テキスト教材

佐久間淳一『はじめてみよう言語学』（研究社）

評価の要点

テキストの内容を自分なりに咀嚼して説明できるか、という点を評価のポイントとします。

履修上の注意事項や学習上の助言

レポート作成の際にはテキストを十分読むとともに、わからないことは図書館で調べるなどしてください。

レポート課題

ヨコ書　ワープロ可　字数制限なし

第1課題

1　録画や携帯電話の録音機能を用いて、2分程度のニュースおよび同程度のバラエティを文字に起こしなさい。さらに、文字に起こした二つを比べて、違いについて論じなさい。

第2課題

1　話し言葉の省略にはどのような要因関係するか。テキストに基づいて論じなさい。

＊引用を正しく行い、参考文献を示すこと。
　コピー・ペーストによるものは失格とする。

No. U108

世代文化論Ⅰ（子どもと文化）

松村　裕子

2単位　通信

履修条件

なし

学習の目標

子ども時代は、生きるうえでの基礎をつくる大事な時代です。子ども達自身が持ち伝えている文化の豊かさを知り、その大切さを自分の言葉で説明できるようにしましょう。また子どもの文化を守るために、何ができるのかも考えましょう。

学習の内容

1．口承文芸とは何か
2．口承文芸の諸ジャンル
3．口承文芸と子どもの関わり
4．調査記録の取り方
5．調査記録のまとめ方
6．調査記録を考察する
7．子どもと口承文芸についてのまとめ
8．児童文学とは何か
9．日本の児童文学史
10．海外の児童文学史
11．児童文学の評論に触れる
12．作品研究
13．作品を評価する
14．児童文学についてのまとめ
15．まとめ

テキスト教材

なし

参考書

小澤俊夫、『昔話入門』（ぎょうせい）1997
瀬田貞二『幼い子の文学』（中央公論社）1980（中公新書）
瀬田貞二『瀬田貞二　子どもの本評論集　児童文学論』（福音館書店）2009
近藤信子『にほんのわらべうた』（福音館書店）2001
稲田浩二ほか『日本昔話辞典（縮刷版）』（弘文堂）1994
笠原政雄『雪の夜に語りつぐ』（福音館書店）2004
鵜野祐介『伝承児童文学と子どものコスモロジー』（昭和堂）2009

評価の要点

レポートについては、課題を理解しているか（①）必要な文献を読んでいるか、あるいは必要な聞き取りがおこなわれているか（②）、自分なりの見解が示されているか（③）、客観的に論じる努力がなされているか（④）を評価します。

履修上の注意事項や学習上の助言

・引用は「　」に入れ、出典を明記します。インターネット上の情報についても同様です。
・インターネット上の情報は、ときに誤っている場合もあります。利用する際は、その信憑性に注意しましょう。
・「かわいい」などの印象を語るのではなく、客観的な評価の言葉を探しましょう。
・邦訳を読んで論じる際は、全訳を選択することが望ましい。

レポート課題

タテ書　ワープロ可　1600字

第1課題

1　以下の3点について、レポートにまとめよ。

①口承文芸という言葉について、簡単にまとめよ。
②自分自身の体験や、周囲の人々からの聞き取りから、口承文芸と思われるものを記せ＊。
（いつ、誰が、どこで、誰から、聞いたのか。また、誰かに伝えたか、についても併記すること。また、口承文芸のどのジャンルに相当するのかも記せ）
③調査を行って気づいたことがあれば記せ。

＊調べた内容が相手に伝わるように、書き方を工夫しましょう。

第2課題

1　口承文芸をもとにした児童文学（昔話絵本、わらべうた絵本など）を一冊選び、次の4点についてまとめよ。選んだ本については書誌事項（『タイトル』著者・画家、出版社、出版年）を明記せよ。

①その作品はどの口承文芸をもとに作られた作品なのか記せ。
②その作品が書かれた背景（児童文学史的背景・作られた経緯など）を調べて記せ＊。
③その作品が、どのような評価を受けてきたか、調べて記せ＊。
④自分が考える、その作品の魅力、あるいは問題点を記せ。

＊可能な範囲でかまいません。

No. U109

世代文化論Ⅱ（若者とファッション）

菱沼　久恵

流行とファッション力を探る

2単位　通信

履修条件

なし

学習の目標

ファッションは衣服に限らず、靴、バック、アクセサリー、化粧や住居、コミュニティーも含め、我々の行動、生活様式全般に至るまでの幅広い概念であると同時にファッションは自己表現の一手段である。その中で若者にとってファッションはどのような位置にあるか、その現状を分析し考察することを目標とする。

学習の内容

1．ファッションビジネスの定義と特性
2．繊維ファッション産業の流れ
3．ライフスタイルとファッション
4．消費者行動とファッション表現
5．消費者の購買行動
6．アパレル産業の概要
7．ファッション小売業の概要
8．商品企画、生産、販売の流れ
9．売り場商品構成の基礎知識
10．ファッション流通
11．ファッション小売企業の仕組みと業務
12．アパレル商品知識
13．シルエットとディテール
14．衣服とドレスコード
15．総論

テキスト教材

日本ファッション教育振興協会『ファッションビジネスⅠ』

参考書

アクロス編集局『ストリートファッション1945～1995――若者スタイルの50年史』
辻幸恵『流行と日本人――若者の購買行動とファッションマーケティング』（白桃書房）
維新聞社編集局『よくわかるファッション業界』

評価の要点

課題の題名を記入のこと。
テーマを理解し下調べがなされた内容が述べられているか。
読み手に分り易くレポートが書かれているか。
自分の考えがきちっとまとめられているか。

履修上の注意事項や学習上の助言

テキストをよく読み、参考書を通じ調べたことを自分の考えや意見をふまえ、レポートにまとめる。

レポート課題

ヨコ書　ワープロ可　1600字

第１課題、第２課題それぞれについて１設題ずつ選択しレポートを提出してください。

第１課題・第２課題

1 戦後の日本のファッション（衣服）から現在までの変遷を調べ、その中で若者のファッションはどのように変化したか述べてください。以下３つのキーワードを使用

1．ファッションのもつ意味
2．若者のファッションが及ぼした影響
3．現在のファッションの位置づけ

2 ファッションデザイナーを一人挙げ、ファッション界に与えた影響を調べ、人物像やどのような作品を発表したか具体的な例をあげ、述べてください。またどの部分が共感できるか自分の考えを端的にまとめて述べてください。

3 博物館、美術館の展示を鑑賞し、自身にどのような影響を与えたか述べてください。（１企画でよい。以下のことを必ず記すこと）
博物館・美術館名、場所、鑑賞日、企画名、鑑賞券のコピー添付

No. U112

環境論

加藤　康夫

地球と身の回りの環境を考える

2単位　通信

履修条件

なし

学習の目標

人口の急増と人間の限りない欲望により、人間と自然との共生は崩壊し、資源の枯渇と環境の汚染を招き、今、地球は破滅の危機に瀕している。この講義が、皆さんの、地球と身の回りの環境問題について理解を深め地球再生のために自分たちで出来ることを考える機会になれば幸甚である。

学習の内容

1．始めに：地球環境論の意義
2．聖徳大学の取り組み：ISO14001などについて
3．地球環境汚染の背景：人口の急増による自然との共生関係の崩壊などについて
4．地球の自然環境：我々が住んでいる地球について
5．地球環境問題：1992年の国連環境開発会議で決められた地球環境問題について
6．地球環境問題の現状と対策-1：地球温暖化について
7．地球環境問題の現状と対策-2：地球温暖化について
8．地球環境問題の現状と対策-3：熱帯林の減少、酸性雨、オゾン層の破壊について
9．地球環境問題の現状と対策-4：有害物質の越境問題、海洋汚染、野生生物の減少について
10．地球環境問題の現状と対策-5：砂漠化、途上国の環境問題について
11．身の回りの環境問題―1：省資源（4R）運動について
12．身の回りの環境問題―2：新エネルギー資源について
13．身の回りの環境問題―3：ダイオキシン類について
14．身の回りの環境問題―4：環境ホルモン、シックハウス症候群など有害化学物質について
15．身の回りの環境問題―5：水と食の安全保障について

テキスト教材

『環境論』（聖徳大学通信教育部）

評価の要点

レポートは、夫々の問題の解決に対して、自分はどんな貢献（非常に小さな活動でも良い）ができるかという観点から述べて欲しい。

履修上の注意事項や学習上の助言

地球環境問題は、非常に動きが激しい。従って、この講義では既存の教科書の使用を止め、新聞情報を中心に筆者がまとめた資料を添付する。勿論、この資料のみで環境問題を網羅できたとは考えていない。この資料には引用文献を記入してあるが、それ以外の情報も自分たちで調べて勉強して欲しい。

レポート課題

ヨコ書　ワープロ可　1600字

第1課題

1　地球温暖化問題について、次のような内容で述べて下さい。

1．地球温暖化の現状
2．地球温暖化に対する世界的な取り組み
3．地球温暖化防止に対して貴女（貴方）にできること
4．感想

第2課題

1　地球温暖化以外の地球環境問題を一つ取り上げ、次のような内容で述べて下さい。

1．問題の現状
2．問題に対する取り組み（国内のみでも結構です）
3．この問題に対して貴女（貴方）にできること
4．感想

No. U046

イギリスの歴史Ⅱ

原　良子

18世紀から20世紀までのイギリス史を概観する

2単位　面接

履修条件

なし

学習の目標

イギリスと言えば、古くからの伝統を守り続ける「保守性」を持つ国と考えられています。しかし他方では、18世紀の産業革命や市民革命のような「先進性」もかね備えています。この特色をイギリス史の流れをつかみつつ、探りましょう。イギリスの歴史Ⅱでは、「ヘゲモニー国家」としてイギリスが上昇してきた18世紀から、20世紀の第二次世界大戦後までを学びます。

学習の内容

第１回　第６章「ヘゲモニー国家への上昇」（１）
第２回　第６章「ヘゲモニー国家への上昇」（２）
第３回　第６章「ヘゲモニー国家への上昇」（３）
第４回　第７章「伝統と革新の相克」（１）
第５回　第７章「伝統と革新の相克」（２）
第６回　第８章「パクス・ブリタニカの盛衰」（１）
第７回　第８章「パクス・ブリタニカの盛衰」（２）
第８回　第９章「福祉国家への道」（１）
第９回　第９章「福祉国家への道」（２）
第10回　第９章「福祉国家への道」（３）
第11回　第10章「コンセンサスの政治からサッチャー主義へ」（１）
第12回　第10章「コンセンサスの政治からサッチャー主義へ」（２）
第13回　第11章「イギリス史におけるアイルランド」（１）
第14回　第11章「イギリス史におけるアイルランド」（２）
第15回　まとめ

テキスト教材

スクーリングテキストについては“聖徳通信”でお知らせします。

参考書

川北稔編『イギリス史』（山川出版社）1998年の「付録」の部分のpp. 039～060に挙げられている参考文献を参照して下さい。

評価の要点

・小レポート・発表・筆記試験
　教科書の第６章から１１章における重要な出来事を把握し、第二次世界大戦後までの時代の流れを理解しているか、その中でどのような特色が見られるか、これらを問います。

履修上の注意事項や学習上の助言

教科書を熟読し、各章の出来事を辿りつつ、同時にその史実がイギリスの歴史の流れの中でどのような意味を持つのかを考えることが大切です。

No. U047

アメリカの歴史Ⅱ

深沢　俊雄

アメリカ独立以後の現代のアメリカを知る

2単位　面接

履修条件

なし

学習の目標

アメリカ独立以後、南北戦争や奴隷解放を経たアメリカの歴史を通して、現代のアメリカについて学習する。

学習の内容

1．帝国主義と第一次世界大戦
2．1920年代の政治
3．大衆消費社会の登場
4．ニューディールとローズヴェルトの政治
5．第二次世界大戦と大戦後のアメリカ
6．戦争と福祉と革命、60年代アメリカの激動
7．アメリカの戦後秩序構想と大戦後の終結
8．冷戦体制とパクス・アメリカーナの構築
9．冷戦体制とパクス・アメリカーナの動揺
10．デタント外交とパクス・アメリカーナの再編
11．冷戦終焉後の世界とアメリカ外交のディレンマ
12．1970年代のアメリカ
13．レーガン・ブッシュ共和党政権下のアメリカ
14．1990年代のアメリカの政治と社会
15．まとめ

テキスト教材

スクーリングテキストについては“聖徳通信”でお知らせします。

参考書

授業内で指示。

評価の要点

試験の成績と授業に取り組む姿勢なども評価の対象とし、総合的に評価する。

履修上の注意事項や学習上の助言

授業回数の１／３以上欠席すると失格となり、再履修である。

No. U044

古典語（ラテン語）Ⅰ

伊藤　笏康

ラテン語初級

1 単位　面接

履修条件

なし

学習の目標

古典ラテン語の文法を一通り習得すること。

学習の内容

テキストは19課から構成されている。したがって、１日平均６課ずつ進める。
文法の解説を中心とした授業を行う。
各課の最後にある練習問題を授業中に解いてもらい、順番に解答していただく。

テキスト教材

スクーリングテキストについては“聖徳通信”でお知らせします。

参考書

辞書の購入を考えている方にはC.T. Lewis, *Latin dictionary*, Oxford University Press（1969）を薦める（辞書がなくても受講に差し支えはない）。

評価の要点

毎回出席し、真剣に学習しているか。
各課の練習問題をきちんとこなしているか。

履修上の注意事項や学習上の助言

とにかくすべての講義に出席することが必須である。
つまずくこともあるかもしれないが、焦らずに粘り強く取り組んでほしい。
分からなくなったら前のページに戻ってやりなおせばよいし、忘れたらまた覚えればよい。
「ラテン語をやってみよう」と最初に思った時の気持ちを大切にしてほしい。

No. U045

古典語（ラテン語）Ⅱ

伊藤　笏康

ラテン語初級

1 単位　面接

履修条件

なし

学習の目標

古典ラテン語の文法を一通り習得すること。

学習の内容

テキストは19課から構成されている。したがって、１日平均６課ずつ進める。
文法の解説を中心とした授業を行う。
各課の最後にある練習問題を授業中に解いてもらい、順番に解答していただく。

テキスト教材

スクーリングテキストについては“聖徳通信”でお知らせします。

参考書

辞書の購入を考えている方にはC.T. Lewis, *Latin dictionary*, Oxford University Press（1969）を薦める（辞書がなくても受講に差し支えはない）。

評価の要点

毎回出席し、真剣に学習しているか。
各課の練習問題をきちんとこなしているか。

履修上の注意事項や学習上の助言

とにかくすべての講義に出席することが必須である。
つまずくこともあるかもしれないが、焦らずに粘り強く取り組んでほしい。
分からなくなったら前のページに戻ってやりなおせばよいし、忘れたらまた覚えればよい。
「ラテン語をやってみよう」と最初に思った時の気持ちを大切にしてほしい。

No. U059

西洋文化の源流Ⅰ

菊地　英里香

西洋古代・中世の哲学に親しむ

4単位　通信

履修条件

なし

学習の目標

現代においても西洋の文化や西洋人の思考を理解する上で欠かせないものである西洋古代・中世の哲学の基礎知識を学ぶと共に、主体的に物事を思考する態度を身につけることが目標である。哲学の源流に触れることによって、現代を生きる私たちの抱える諸問題にも新たな視点からの見直しが可能となるだろう。

学習の内容

1．古代哲学の誕生（最初の哲学者たちの自然世界への問いかけとは）
2．ソクラテス以前の哲学（エレア学派など）
3．ソフィストとソクラテス
4．プラトンの哲学（イデア論、善への上昇）
5．アリストテレスの理論哲学（存在者および変化の諸原理、不動の動者）
6．アリストテレスの実践哲学（善き生の目的、徳、観想的生）
7．ストア学派（哲学を論理学、自然学、倫理学という三部門に分割、基本原理「ロゴス」）
8．新プラトン主義（「一者」、魂の帰還）
9．キリスト教哲学の起源：教父思想（ギリシア教父を中心に）
10．アウグスティヌスの思想（真理への問い、自己認識、神認識と照明説）
11．初期スコラ学（アンセルムス、アベラルドゥス、ベルナルドゥス、フーゴー）
12．13世紀のスコラ学とアリストテレスの受容
13．トマス・アクィナスの哲学
14．14世紀の後期スコラ学（ドゥンス・スコトゥス、ウィリアム・オッカム）
15．中世の神秘主義（マイスター・エックハルト、ニコラウス・クザーヌス）

テキスト教材

クラウス・リーゼンフーバー『西洋古代・中世哲学史』（平凡社）2000年

参考書

テキストの各章末に提示

評価の要点

テキストに書かれていることをしっかり理解したうえで、論理的な構成の下で自分の言葉で記述ができているかを見る。

履修上の注意事項や学習上の助言

興味をもった哲学者の原典（翻訳でよい）をぜひこの機会に１冊は読んで哲学者たちの生の声に触れてもらいたい。
（例えば、プラトンやアリストテレスの著作の多くは岩波文庫で読める。）
じっくりとテキストを読み、ひとつひとつ課題に時間をかけて取り組んでほしい。
そうすることで、試験問題に対応できる力もおのずとつくはずである。
「難しいのでは…」と身構える必要は全くない。
人間関係でもそうだが、相手を理解しようと思うことがまず大事である。
参考文献をあたって学習することは大いに歓迎するが、一度自分の頭で書かれた内容を消化して、自分の言葉で要点をまとめるようにすること。

レポート課題

ヨコ書　ワープロ可　1600字

教材：クラウス・リーゼンフーバー『西洋古代・中世哲学史』（平凡社）2000年

第１課題

1　ソクラテスの哲学の特徴について、ソクラテス以前の哲学との決定的な違いを指摘した上で論じてください。

第２課題

1　アリストテレスはプラトンが固めた基盤の上に立って可感的な現象を救うことに成功したと言われています（p.107）。可感的な対象物に対する両者の態度について論じてください。キーワードは「イデア」、「目的論」。

第3課題

1 アウグスティヌスにおける真理の探究方法（自己認識）について、デカルトとの違いを念頭に置いた上で論じてください。

第4課題

1 トマス・アクィナスにおける神と有限的存在者（被造物）の関係についてまとめてください。また、トマスは人間の究極目的「至福」はいかにして可能になるとしていますか。

No. U060

西洋文化の源流Ⅱ

菊地　英里香

旧約聖書の世界との出会い

4単位　通信

履修条件

なし

学習の目標

古典古代の文化と並び、西洋文化の根底にあるキリスト教について学ぶ。このコースでは旧約聖書の思想を学び、神、そして神と人間とのかかわりについて理解を深めることを目標としたい。

学習の内容

1．はじめに（アダムからダビデまでの物語pp.23－73を読み、流れをつかむ）
2．原初の物語（天地創造、失楽園、ノアの箱舟、バベルの塔）
3．族長物語①（アブラハム、イサク）
4．族長物語②（ヤコブ、ヨセフ）
5．出エジプト、荒れ野の旅
6．シナイ契約、十戒
7．申命記（掟と法の意義）
8．ヨシュア記、士師記
9．イスラエル王国の誕生と繁栄（サムエル、サウル、ダビデ、ソロモン）
10．王国の分裂と両王国の末路
11．預言文学（イザヤ書を中心に）
12．ヘレニズムからローマへ①（ダニエル書）
13．ヘレニズムからローマへ②（マカバイ記）
14．詩編①（知恵の詩編）
15．詩編②（呪いの詩編、嘆きから賛美へ）

テキスト教材

佐伯教会学校編『親と子の旧約聖書』（聖母文庫）

参考書

『聖書』（旧約聖書と新約聖書の両方を含むものであれば、いずれの出版社のものでもよい）現在入手しやすいものとしては『聖書　新共同訳』、日本聖書協会（初版は1987年）

評価の要点

教科書をしっかり理解した上で、自分の頭と言葉を使って設問に的確に答えているかを見る。

履修上の注意事項や学習上の助言

教科書に書かれている解釈を理解することはもちろん大切なことであるが、そこから先へ一歩進み、自分なりの読み方を探求してほしい。折に触れて『聖書』にあたり、じっくりと学習することをすすめる。

レポート課題

ヨコ書　ワープロ可　1600字

教材：佐伯教会学校編『親と子の旧約聖書』（聖母文庫）2008年

第1課題

1　アブラハムに対し、神は息子イサクを捧げるよう命じました。子殺しという試練を与える神とこのような命令に従ったアブラハムについて、あなたはどう思いますか。

この出来事からどのような事柄を読み取ることができるでしょうか。

第2課題

1　十戒の中で神はヤーウェ神像を造ることを禁じています。当時のイスラエルの民をとりまく宗教的状況をふまえた上で、神の不可視性、超越性について考察してください。

第3課題

1　第2イザヤの示す「苦しみのしもべ」とはどのようなものですか。あがない（の死）について、あなたなりに論じてみてください。

第4課題

1 知恵とはどのようなものだと言われていますか。主を畏れ、まっすぐに生きるとはどういうことでしょうか。
「知恵の詩編」（教科書pp.641~664）をよく読んでから考察してください。

No. U061

比較文化

安井　泉

世界の文化コンフリクトを歴史的に理解しよう

4単位　通信

履修条件

なし

学習の目標

アメリカ、ヨーロッパ、アジア、アフリカと世界には様々な歴史を背負った文化がある。それを理解する為に民族の過去と現在を知ろう。そうすれば、今起っていることはどうしてなのか、又、これからどうなっていくかの見通しもついてくるだろう。

学習の内容

「21世紀の世界」への見通しを持つ為に大きく二つの文化圏に分けて学習する。

1.「アメリカ大陸とヨーロッパ大陸」
- 1. 白人とインディアン
- 2. 黒人公民権運動
- 3. コモンウェルス
- 4. ケネディー家
- 5. コロンブス
- 6. 虐殺と差別
- 7. ケベック州
- 8. 民族独立運動　など

2.「アジアとアフリカ」
- 9. 人口過剰と一人っ子政策
- 10. 世界の中華街
- 11. 東洋と西洋の統合
- 12. 姓が無い
- 13. カースト
- 14. ユダヤ人
- 15. ネグロイド　など

テキスト教材

大橋久利・Gary Dendo『Ethnic Peoples Shaping the 21st Century、民族で読む21世紀の世界』（成美堂）

参考書

各テーマを英語でインターネット検索し、英語サイトから資料をとり読み慣れよう。

評価の要点

回答の正誤と同じ程度に英語力を対象とする。
この教科は、英語教員免許科目でもあるので、最終試験では英語読解力も重視する。

履修上の注意事項や学習上の助言

まず各章の英語を辞書を引かないで最後まで読み、概要を理解しよう。それから、Notesを見ながら読み直そう。それでも分からないところは辞書を引こう。それから行うExercisesが理解を更に助けてくれるだろう。インターネットでそれぞれのテーマ記事を読むのも興味深いだろう。

レポート課題

巻末解答用紙（333頁）　ヨコ書　ワープロ可

⚠ 巻末解答用紙をコピーし、解答を記入して、本誌iii頁の「その他のレポート送付について」により送付してください。
ワープロの場合A4サイズ（白紙）で作成してください。

第1課題

1　Unit 1, p.6、回答提出

第2課題

1　Unit 5, p.24、回答提出

第3課題

1　Unit 12, pp.56-57、回答提出

第4課題

1　Unit 20, pp.91-92、回答提出

No. U062

異文化間コミュニケーション

安井　泉

異文化を学び、異文化に寛容になろう

4単位　通信

履修条件

なし

学習の目標

近いものから遠いものまで文化の有り様は様々である。他者の文化を理解し、己の文化を考え直し、異文化を背負った人たちと広い心でコミュニケーションが取れるようになろう。

学習の内容

テキストより
1．空間、時間、異文化コミュニケーション
2．異文化コミュニケーターとしての通訳者
3．異文化コミュニケーションと誤解の接点
4．異文化コミュニケーションにおける言語選択、「英語普及」をどう捉えるか。
5．地球都市の出現とコミュニケーション
6．マスメディアと異文化コミュニケーション
7．障害者、高齢者とのコミュニケーション
8．女性と異文化適応　―　日本人母親の場合
9．「文化」、「コミュニケーション」、「異文化コミュニケーション」の語られ方

テキスト教材

伊佐雅子監修『多文化社会と異文化コミュニケーション』（三修社）

参考書

ベイツ・ホッファ、本名信行・竹下裕子編『共生社会の異文化間コミュニケーション』（三修社）
八代京子・他『異文化トレーニング〔改定版〕、ボーダレス社会を生きる』（三修社）
その他はテキスト参照

評価の要点

小論文に対する評価：
　テーマに対する理解は充分か。
　選んだテーマに関する例は適当か。
　本文の３例が配分よくまとめられたか。
　小論文としての形を取り、書き上げた後推敲ができているか。

履修上の注意事項や学習上の助言

テキストをよく読み、参考文献などを読み、それぞれのテーマについてよく考え内容を理解しよう。よく理解し考えておくことが、実際に異文化と出会ったときの対処の役に立つだろう。

レポート課題

巻末解答用紙（333頁） ヨコ書 ワープロ可 指示様式による

「自分で考えてみよう」から指定の各章１題を選択し、回答は小論文形式で提出。（小論文の形は下記を参照。）

⚠ 巻末解答用紙をコピーし、解答を記入して、本誌 iii 頁の「その他のレポート送付について」により送付してください。
ワープロの場合はA4サイズ（白紙）で作成してください。

第１課題

1 第１章、p.25

第２課題

1 第２章, p.44

第３課題

1 第４章 p.90

第４課題

1 上記以外の興味深いと思う章から１問選択。
どの章から何故、それを選んだかも記すこと。

回答小論文形式

約800字～1000字

氏名：　　学籍番号：　　メールアドレス：

課題名：　　課題番号：

（５W１Hに注意し、読み手に分かり易い文章を心がける。）

選択課題名：

序論：何を言いたいから、何を例に上げるのかの項目を書き、要旨を示す。

本論：具体例を３つ以上挙げ、論を展開する。

例１：

例２：

例３：

結論：何について何をどう述べたのか概要をまとめる。更に、それで何が見えてきたのかなど、考えの発展又は感想を記す。

No. U063

ドイツ語Ⅰ

清水　修

楽しくドイツ語を学ぼう

2単位　面接

履修条件

なし

学習の目標

ドイツ語の初歩から初めて、さらに深く学ぶための基礎を楽しく学びます。教養としての学習も大事ですが、同時に学習しただけ、例えば旅行などで少しでも実際に役に立つものでなければなりません。

学習の内容

ドイツ語のアルファベットと発音からはじめて、過去の出来事を表現できるようになるくらいまで進む予定です。
文法については、しっかりと身に付けなければならないことと、取り合えず理屈だけ理解して、それを正しく使えるようになるのは「将来の目標」にするものに分けて学習します。
テキストには、予習や復習が一人でもできるようにDVDと、別冊に単語集だけでなく和訳も付いたものを選びました。したがって、教科書を順に読むというよりは、キーセンテンスをしっかりと覚え、その応用を練習します。
ドイツ語での自己紹介や友達の紹介などの発表も予定しています。
また、ドイツの文化の紹介もできるだけ取り入れていきたいと思っています。

テキスト教材

スクーリングテキストについては“聖徳通信”でお知らせします。

参考書

手元に利用できる辞書があれば持参してください。まだ持っていない人には授業で紹介します。

評価の要点

普通に授業に参加していれば合格点が取れる最後の授業で実施する試験と、授業中の小テスト、発表等で総合的に評価します。

履修上の注意事項や学習上の助言

外国語というと、とかく難しいと最初から決めてかかる人が多いようですが、目標の設定が適切でないことが多いようです。これは必ずしも目標が高い低いということではありません。学習の段階に応じて適切な目標設定をしないとドイツ語は難しいと投げ出すことになりかねません。

No. U064

ドイツ語Ⅱ

清水　修

楽しくドイツ語をしっかり学ぼう

2単位　通信

履修条件

なし

学習の目標

初歩から一歩踏み出してドイツ語をしっかりと学びます。教養として、また実用としてのドイツ語学習の基礎を身に付けます。

学習の内容

テキストには、予習や復習が一人でもできるようにDVDと、別冊に単語集だけでなく和訳も付いたものを選びました。
DVDを見て、また単語帳等を参考にしてテキストの内容を理解して、付録の復習問題の解答をします。

第１課題
テキスト教材の別冊の復習問題のLektion１からLektion６までを解答し提出する。

第２課題
テキスト教材の別冊の復習問題のLektion７からLektion12までを解答し提出する。

テキスト教材

『ドイツってすてき！［DVD付き改訂版］』（朝日出版社）

参考書

できれば手元に利用できる辞書を用意してください。単語集がありますからテキストの内容は辞書がなくても理解できますが、問題には辞書を引かなければ解答できないものもあります。

評価の要点

科目終了試験によって評価します。

履修上の注意事項や学習上の助言

外国語を学ぶときに初めから「正しい美しい文」を目指すことは時として適切ではなく、難しくて投げ出してしまうことになりかねません。しかし、十分に時間が取れるときには細かいところまで気を配って解答することも必要です。

レポート課題

ヨコ書　ワープロ可　字数制限なし

第１課題

1　テキスト教材の別冊の復習問題のLektion１からLektion６までを解答し提出する。

第２課題

1　テキスト教材の別冊の復習問題のLektion７からLektion12までを解答し提出する。

No. U065

フランス語Ⅰ

C.G.ブティエ

フランス語母語話者といっしょに練習しましょう！

2単位　面接

履修条件

なし

学習の目標

読む、書く、聞く、話す、いわゆる「４つの技能」を身につけること。

学習の内容

１日目
1　外国語の学習テクニックについての解説（1）。挨拶。自己紹介。
2　発音の仕組み。質問と答え。
3　文法。人称代名詞。練習問題。
4　覚えるフレーズ。発音。
5　１日の復習。

２日目
1　学習テクニックについての解説（2）。買い物する。
2　発音の仕組み。質問と答え。
3　文法。動詞。
4　アルファベット。自分の名前の綴りを言う。発音。
5　１日の復習。

３日目
1　学習テクニックについての解説（3）。
2　発音の仕組み。質問と答え。
3　文法。否定文と疑問文。
4　文法形容詞。発音。応用問題。
5　総復習　復習と学習レポートの提出。

テキスト教材

スクーリングテキストについては“聖徳通信”でお知らせします。

参考書

授業中にウェブページを紹介する。
http://anae-japan.com/

評価の要点

積極的に授業に参加する。学習ノートのコピーとレポートを提出する。

No. U066

フランス語Ⅱ

C.G.ブティエ

ベテランのフランス語母語話者といっしょに勉強しましょう！

2単位　通信

履修条件

なし

学習の目標

読む、書く、聞く、話す、いわゆる「４つの技能」の基礎を身につけること。

学習の内容

教科書、CD、学習指導書にそって様々な知識だけではなく、学習テクニックも身につけていく。
覚えるフレーズと単語、発音、短い会話（和訳付き）、応用問題をレッスンごとに訓練していく。文法の解説は理解と記憶しやすいように最小限に抑えてある。

会話のテーマ：
買い物、道を尋ねる、自己紹介、駅にて、体の具合が悪い、レストランでの注文、郵便局にて、好みについて聞く／述べる、教えてください、お天気、誘い、職業と滞在、ホテルにて、試着、国籍と言葉など。

学習のプログラムの詳細は学習指導書に掲載されている。

テキスト教材

川口裕司、C.G.ブティエ、川口恵子『ゼロから話せるフランス語　改訂版』（三修社）
C.G.ブティエ『フランス語Ⅱ』（聖徳大学通信教育部）

参考書

恒川邦夫、牛場暁夫、吉田城、C.G.ブティエ『プチ・ロワイヤル和仏辞典』（旺文社）

評価の要点

フランス語の基礎の基礎ですので、正確に覚えること。

レポート課題

⚠ この用紙をコピーし、解答を記入して、本誌ⅲ頁の「その他のレポート送付について」により送付してください。

第 1 課題

1 Ⅰ．次の文章の仏訳をして下さい。

1．パンはありますか。

.....

2．クロワッサンを二つ下さい。

.....

3．すみません。この近くに郵便局はありますか。

.....

4．3本目の通りを右へ曲がって下さい。

.....

5．5本目の通りを左へ曲がって下さい。

.....

6．銀行の向かいです。

.....

7．私は「自分の名前」です。

.....

8．お入り下さい。

.....

9．Jean Martinを紹介します。

.....

10．すみません。これはリヨン行きの飛行機ですか。

.....

11．私たちは11号車を探しています。

.....

12．4番目の通りを左へ曲がって下さい。

.....

Ⅱ．下線部に入る正しい単語を記入してください。

1．Je cherche_____poste.

2．Je ne sais_____.

3．Une station_____métro.

4．Est-ce qu' _____un buffet？

5．Il est trois heures_____demie.

6．On va_____cinéma？

1．_____ 2．_____ 3．_____ 4．_____ 5．_____ 6．_____

第2課題

1 Ⅰ. 次の文章の仏訳をして下さい。

1. 私は頭が痛い。

.....

2. 彼は病気ではない。

.....

3. 彼女は日曜日は暇ですか。

.....

4. 映画館では何が上映されますか。

.....

5. どんなお肉がありますか。

.....

6. 50ユーロのメニューをください。

.....

7. ロゼワインがありますか。

.....

8. ワインをもう少し、いかがですか。

.....

Ⅱ. 下線部に入る正しい単語を記入してください。

1. J' ai mal_____dos.

2. Il a mal_____main.

3. Je n' ai pas_____argent.

4. Comment dit-on timbre_____japonais?

5. Je ne comprends_____.

1. _____ 2. _____ 3. _____ 4. _____ 5. _____

No. U187

書写・書道Ⅰ

岩井　秀樹

文字を正しく整えて書く、またその指導法。

1 単位　通信

履修条件

なし

学習の目標

小学校・中学校国語科書写の指導に必要な知識と技能の基礎・基本を理解し、習得・習熟する。

学習の内容

1．書写・書道の指導に当たって（P．1～6）
2．書写指導の要素（P．7～12）
3．楷書（学習のねらい・学習の内容・技法と研究上の留意点）
4．楷書の横画（一・三）
5．楷書の縦画（山川）
6．楷書の折れとはね（日・月）
7．楷書の左払い・右払い・曲がり（大地）
8．楷書の点とはね（太陽）
9．楷書の折れとそり（理想）
10．片仮名
11．平仮名（学習のねらい・学習の内容・技法と研究上の留意点）
12．平仮名の筆づかい（ゆめ）
13．平仮名の折り返しと結び（ひらがな）
14．平仮名の払いと向かい合う画（きれいなゆり）
15．まとめ（総復習）

テキスト教材

『書写・書道Ⅰ・Ⅱ』（聖徳大学通信教育部）

参考書

全国大学書写書道教育学会編『明解　書写教育　改訂版』（萱原書房刊）2009年

評価の要点

レポートは、テキストの内容の理解度をみる。また、誤字は減点の対象となるので注意すること。
実技作品は、テキストに忠実であることを前提に、その習熟度を評価する。

履修上の注意事項や学習上の助言

レポートは、テキストを丸写しすることなく、よく理解したうえで自分の言葉でまとめて書くこと。
作品は、充分に練習をし、習熟した物を提出すること。

レポート課題

タテ書　ワープロ可　1600字

⚠ 本誌ⅲ頁の「その他のレポート送付について」により送付してください。<レポート>と<作品>は、同じ封筒に入れて、一度にご提出ください。提出票、講評欄、設題名、参考文献欄は<レポート>の方につけてください。<作品>には左下に学籍番号と氏名を記入してください。<レポート>を「手書き」で作成する場合は、本学所定のレポート用紙（手書用）をご使用いただき、<作品>と同じ封筒に入れてご提出ください。

第 1 課題

1 〈レポート〉

毛筆を使用する書写・書道の意義と学習指導要領の取り扱いに関して、あなたはどのような取り組みをしたらよいか具体的な方法をあげて説明しなさい。（参考文献はかならず明示しなさい）

〈作品〉①～⑦すべて提出

① 始筆、終筆に注意してテキストの「一三」を半紙に清書し提出しなさい。

② テキスト「山川」の縦画の接点と、川の字の最終画の払いの方向に注意して、半紙に清書し提出しなさい。

③ 「日月」の転折を、はねに注意して清書し提出しなさい。

④ 特に払いや曲がりに留意し「文化」「交流」「花火」のうち一つを選び、半紙に清書し提出しなさい。

⑤ 楷書の見本としての「太陽」の文字を運び、左払い、右払いに横画や縦画が加わる場合の画の位置、点やはねに注意して清書し、一枚提出しなさい。

⑥ 半紙に「あじわい」四字を清書して提出しなさい（一行には書かないこと）。

⑦ 「よろこび」「ほおづき」の二つの課題から一つを選んで提出しなさい。

No. U188

書写・書道Ⅱ

岩井　秀樹

文字を正しく整えて書く、またその指導法

1 単位　面接

履修条件

「書写・書道Ⅰ」を修得していることが望ましい。

学習の目標

小学校・中学校国語科書写の指導に必要な知識と技能の基礎・基本等を理解し、習得・習熟する。

学習の内容

1．用具・用材の説明
2．漢字（楷書二文字①）
3．漢字（楷書二文字②）
4．漢字（楷書二文字③）
5．楷書に合う平仮名と行書に合う平仮名（二字）①
6．楷書に合う平仮名と行書に合う平仮名（二字）②
7．楷書に合う平仮名と行書に合う平仮名（四字）①
8．楷書に合う平仮名と行書に合う平仮名（四字）②
9．漢字と平仮名の調和（楷書四字）
10．漢字と平仮名の調和（行書四字）
11．漢字と平仮名の調和（楷書五字）
12．漢字と平仮名の調和（行書五字）
13．古典の臨書（九成宮醴泉銘）①
14．古典の臨書（九成宮醴泉銘）②
15．まとめ

テキスト教材

スクーリングテキストについては“聖徳通信”でお知らせします。

評価の要点

提出物の習熟度を評価する。

履修上の注意事項や学習上の助言

半紙、大筆、小筆、墨、下敷き等の用具を持参すること。
半紙は、滲みの少ないものが良い。二日間にわたって練習時間があるので、充分な枚数を用意すること。
墨は墨液でよい。

No. J093

生涯学習概論

福留　強

2単位　通信

履修条件

なし

学習の内容

1．生涯学習の意義	生涯学習の定義　生涯学習の必要性
2．ユネスコが提唱した生涯教育	世界の生涯学習の動向
3．日本の生涯学習の推進の動向	生涯学習体系の施策と自治体の事業
4．生涯学習の領域・学習内容と方法	生活の中の学習内容　多様な学習の方法
5．生涯学習における家庭教育	家庭の機能と教育　子育て支援方策
6．生涯学習と学校教育	生涯学習の基礎基本と学校　開かれた学校
7．生涯学習と社会教育の意義	社会の教育機能と教育　社会教育の意義
8．生涯学習と青少年の育成	青少年団体の活動　地域で育つ子ども
9．高齢社会の生活と学習	生涯現役　創年活動のすすめ
10．地域に輝く女性たち	女性の学習課題　男女共同参画社会
11．生涯学習と社会教育施設の役割	社界教育施設の機能と連携のシステム
12．生涯学習とまちづくり	生涯学習まちづくりの意義と現状
13．生涯学習施設と指導者	生涯学習施設の指導者の種類と役割
14．まちづくりの中の図書館	図書館が市民生活の中に根付く取組み
15．生涯学習行政の中の図書館	社会教育計画と図書館の課題

テキスト教材

伊藤俊夫執筆・編集代表『生涯学習概論』（文憲堂）

参考書

福留強『生涯学習まちづくりの方法』（日常出版）
『生涯学習・社会教育必携』（第一法規出版）

レポート課題

ヨコ書　ワープロ可　1600字

第1課題

1　生涯学習社会の意味とその具体的な政策について述べなさい。

第2課題

1　生涯学習まちづくりの意義と自治体の取組み、身近な事業について述べなさい。

No. J094

図書館概論

村山　隆雄

図書館の社会的役割を考える

2単位　通信

履修条件

なし

学習の目標

高度情報化社会および生涯学習社会のなかで、図書館の役割は変化するとともに、ますます重要になっています。図書館についての基本的な知識を学ぶことにより、現代社会における図書館の意義、機能を考察します。

学習の内容

図書館をとりまく諸現象を、さまざまな観点（図書館の意義、機能、理念、歴史、種類、運営等）から分析し、その社会的役割を考察するとともに、課題を明らかにし将来を展望します。本科目を「図書館入門」、「図書館情報学入門」として位置づけ、司書関連科目学習のための出発点としてください。

1．図書館とは何か
2．現代社会と図書館
3．出版と図書館、著作権
4．図書館の理念（知的自由と図書館等）
5．図書館法規と行政、政策
6．地域社会と図書館
7．各種図書館の機能と課題（公共図書館、国立図書館、学校図書館、大学図書館、専門図書館等）
8．図書館の歴史的展望
9．外国の図書館
10．図書館関係団体と学習の手引
11．図書館の課題と展望

テキスト教材

塩見昇『図書館概論』（ＪＬＡ図書館情報学テキストシリーズ　Ⅲ-1）（日本図書館協会）
『図書館概論　学習指導書』（聖徳大学通信教育部）

参考書

今まど子編著『図書館学基礎資料』第11版（樹村房）
高山正也編著『図書館概論』（樹村房）
大串夏身、常世田良著『図書館概論』（学文社）
テキスト、学習指導書に記載されている参考文献は、図書館等を活用して可能な限り多く読むことに努めてください。

評価の要点

1．レポートでは、図書館について自分の考えがどれほど深められたかを重視します。
2．レポートの作成は、テキストのみや参考文献１点のみでなく、複数の文献を活用のこと。
3．インターネットの利用の際は、URLの表示とともに閲覧月日を明記しましょう。
4．文献の引用と自分の意見、考えとは文章上で明確に区分してください。
5．筆記試験では、テキスト内容の理解とレポート課題取り組み成果が総合的に試されます。

履修上の注意事項や学習上の助言

多くの各種図書館を実際に訪ね、観察し、また積極的に利用して、その利用体験がレポートをはじめ学習活動の向上に反映するよう努めてください。

レポート課題

ヨコ書　ワープロ可　1600字

第１課題

いずれか１設題を選択

1　図書館の一般的な構成要素および図書館の機能について説明しなさい。

2　「図書館の自由」とはどのような考え方なのか。また、最近日本で起きた関連する事例をあげ、その問題点について論じなさい。

第２課題

いずれか１設題を選択

1　「中小都市における公共図書館の運営」、「市民の図書館」、「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」、「公立図書館の任務と目標」、「これからの図書館像」の５つの主要事項を盛り込んで、戦後の日本における公共図書館サービスの発展の流れを記述しなさい。

2　日本の国立国会図書館、大学図書館、学校図書館、専門図書館のうち、１つを選んで、その現在の課題について調べなさい。

No. J095

情報処理技術概論

矢代　寿寛

図書館を支える技術

2単位　面接

履修条件

なし

学習の目標

今日では、図書館業務の遂行にコンピュータとその応用技術が不可欠である。そこで、コンピュータとその応用技術について理解し、利用者の支援につなげられるようになることを目標とする。

学習の内容

コンピュータの基礎技術について解説し、それを応用した技術を概観する。図書館における応用について学ぶ。

1．オリエンテーション、現代の情報技術
2．コンピュータの基礎
3．コンピュータの歴史
4．コンピュータの基本構成
5．コンピュータ上での情報表現
6．情報の記録メディア
7．コンピュータシステム
8．データベースシステム
9．情報検索システム
10．コンピュータネットワーク
11．図書館と情報技術：全体像
12．図書館と情報技術：図書館業務システム
13．図書館と情報技術：情報発信
14．リスクとセキュリティ
15．まとめと試験

テキスト教材

スクーリングテキストについては“聖徳通信”でお知らせします。

参考書

カーニハン著『ディジタル作法』（オーム社）2013

評価の要点

講義で取り上げたトピックごとの理解と、その応用力を問う試験を行う。試験の結果から評価を行う。

履修上の注意事項や学習上の助言

スクーリング科目は自習可能な期間が限られますので、事前に専門用語の予習をしておくか、理解を助ける辞事典を適宜利用することをおすすめします。

No. J096

図書館制度・経営論

石橋　良子

良いサービスを生む図書館経営

2単位　通信

履修条件

基礎科目である「図書館概論」を修得済であること。

学習の目標

図書館経営に必要な図書館に関する法律、関連する領域の法律、図書館政策について解説するとともに、職員や施設等の経営資源、サービス計画、予算の確保、調査と評価、管理形態等について理解し、図書館政策を考える基礎知識をもとに、図書館経営に参加できることを目標とする。

学習の内容

図書館経営の運営者として理解するために、図書館の基調を構成する法律等をはじめ図書館情報関連法制度や経営環境を踏まえ、図書館経営に欠くとができない資料・情報、人、財源、施設等について学ぶ。このことによってより良い公立図書館サービスを実現するための経営の方法のあり方を総合的に考える。

1．図書館経営の考え方
2．図書館をとりまく環境
3．図書館の基調を構成する法制度(1)　図書館法
4．図書館の基調を構成する法制度(2)　教育基本法、社会教育法
5．図書館協力
6．図書館サービスと関連法規
7．組織と職員
8．施設・設備管理
9．図書館システム環境
10．図書館の財務
11．図書館経営と政策
12．図書館の経営・サービスの現状分析
13．図書館のサービス計画と予算
14．公立図書館の計画と実行と評価
15．公立図書館の経営形態の変移

テキスト教材

竹内紀吉編著『図書館経営論』（新現代図書館学講座３）
『図書館経営論』（聖徳大学通信教育部）

参考書

テキスト、学習指導書に記載されている参考文献は、図書館等を利用して可能な限り多く読むことに努めてください。

評価の要点

1．レポート課題では、図書館経営について自分の考えをどれだけ深められたかを重視します。
2．レポートの作成は、テキストのみや参考文献１点のみでなく、複数の文献を活用のこと。
3．インターネット利用の際は、URLの表示とともに閲覧日時を明記しましょう。
4．文献の引用と自分の意見、考えとは文章上で明確に区分してください。
5．筆記試験では、テキスト内容の理解とレポート課題取り組み成果が総合的に試されます。

履修上の注意事項や学習上の助言

日頃から図書館を積極的に利用して、その利用体験がレポートをはじめ学習活動の向上に反映するよう努めてください。

レポート課題

ヨコ書　ワープロ可　1600字

第１課題

いずれか１設題を選択

1　図書館の二次的経営活動について述べなさい。

2　公立図書館は同一自治体の施設や機関とどのような連携・協力が必要か述べなさい。

第２課題

いずれか１設題を選択

1　図書館への理解を深めるためには市民にどのような広報活動が必要か述べなさい。

2　図書館サービスの評価を効果的に図書館の運営に反映するにはどのような事項に注意すべきか述べなさい。

No. J097

図書館サービス概論

石橋　良子

公立図書館サービスのあり方と課題

2単位　通信

履修条件

基礎科目である「図書館概論」を修得済であること。

学習の目標

図書館サービスの考え方と構造、現状の各種の図書館サービスを学び、図書館サービスの基本を理解する。特に公共図書館は地域社会でどのようなサービスをもとめられているか、その要求に応えていくための諸問題等を認識し、多様化する図書館の実態を把握しながら、実社会でも活用できることを目標とする。

学習の内容

図書館サービスの考え方と構造、現状の各種の図書館サービスを解説することによって、図書館サービスの基本を理解することに努める。また、現実の図書館を取り巻く情況を知ることにより、受講生の利用体験を生かしてその理解を深める。さらに図書館サービス精神をも培えるようにする。

1．ガイダンス・科目の概要
2．図書館サービスの考え方と構造
3．近代公共図書館サービス発展の歴史
4．資料提供サービスの基本　館内閲覧利用と館外貸出し利用
5．情報提供サービス　レファレンスサービス・情報発信・集会活動事業
6．図書館サービスの連携・協力
7．問題解決支援サービス
8．児童・青少年サービス
9．障害者サービス
10．高齢者・多文化サービス
11．図書館サービスと著作権
12．図書館組織網のあり方
13．司書のあり方　利用者に対する接遇・コミュニケーション
14．図書館の評価
15．図書館サービスの総括

テキスト教材

小田光宏編『図書館サービス論』（日本図書館協会）
『図書館サービス概論』（聖徳大学通信教育部）

参考書

テキスト、学習指導書に記載されている参考文献は、図書館等を利用して可能な限り多く読むことに努めてください。

評価の要点

1．レポートでは、図書館サービスについて、自分の考えがどれほど深められたかを重視します。
2．レポートの作成は、テキストのみや参考文献１点のみではなく、複数の文献を活用のこと。
3．インターネット利用の際は、URLの表示とともに閲覧日時を明記しましょう。
4．文献の引用と自分の意見、考えとは文章上で明確に区分してください。
5．筆記試験では、テキスト内容の理解とレポート課題取り組み成果が総合的に試されます。

履修上の注意事項や学習上の助言

日頃から図書館を積極的に利用して、その利用体験がレポートをはじめ学習活動の向上に反映するよう努めてください。自分の考えはそこから生まれます。

レポート課題

ヨコ書　ワープロ可　1600字

第１課題

いずれか１設題を選択

1　閲覧サービスの意義について述べなさい。

2　レファレンスサービスがなぜ重要であるかについて述べなさい。

第２課題

いずれか１設題を選択

1　広域利用制度が普及するようになったのはなぜか述べなさい。

2　障害者のために図書館はどんなサービスができるか述べなさい。

No. J098

情報サービス論

山口　洋

利用者の役に立つ図書館情報サービス

2単位　通信

履修条件

なし

学習の目標

近年の情報技術の進歩やインターネットの発達により、私たちは膨大な情報の中から、求める情報を的確に選択し、素早く、かつ正確に収集することを求められています。図書館は利用者に求める情報を草の根を分けても探し出し提供することをその使命としていますが、情報環境の変化（インターネット普及やIT化）に伴い、個人の情報探索活動の選択肢が増える一方、その選択肢の一つである図書館の存在意義を改めて考える必要に迫られています。本講座では、図書館の本質を踏まえた上で、図書館における情報サービスの概要を考察し、図書館における情報サービスについての基礎知識を習得し、今後求められる図書館像を考えます。

学習の内容

＊＊第２回～第14回はテキストに沿って学習してください。＊＊
第１回　図書館の本質（構成要素、公立図書館の役割など。図書館概論のテキスト等で確認しましょう）
第２回　情報社会とは何か、図書館の役割
第３回　図書館による情報サービスの意義と実際：①図書館による情報サービスの意義と構成要素
第４回　図書館による情報サービスの意義と実際：②情報サービスを構成する各サービス、館種による違い
第５回　レファレンスサービスの理論と実践：①利用者の情報探索行動
第６回　レファレンスサービスの理論と実践：②レファレンスプロセス
第７回　レファレンスサービスの理論と実践：③レファレンスサービスの実際（実施、組織、資料、人材）
第８回　レファレンスサービスの理論と実践：④レファレンスプロセスの実際（評価、現状、課題）
第９回　情報検索とは何か：①情報検索の種類、理論、評価
第10回　情報探索とは何か：②データベース、webサイト、インターネット検索
第11回　発信型情報サービスの展開：図書館web、次世代OPAC，機関リポジトリーなど
第12回　利用者教育：歴史、現状、課題（情報リテラシー）
第13回　各種情報源の特徴と利用法：①情報サービスにおける情報源（種類と特徴）
第14回　各種情報源の特徴と利用法：②各種情報源の利用法
第15回　まとめ（図書館における情報サービスの意義を整理する。）

テキスト教材

山崎久道編著『「情報サービス論」（現代図書館学シリーズ；５）』（樹村房）2012

参考書

前川恒雄、石井敦共著『新版　図書館の発見』（NHK）
今まど子編著『図書館学基礎資料　第11版』（樹村房）
長澤雅男・石黒裕子共著『情報源としてのレファレンスブック　新版』（日本図書館協会）
『まちの図書館でしらべる』（柏書房）

評価の要点

1．レポート課題を通して図書館における情報サービスについての自分の考えをどれだけ深められたかを重視する。
2．レポート作成では、課題を的確に捉え、参考文献を踏まえてまとめられていること。テキストのみで作成されたレポートは評価しない。
3．インターネットの利用では、閲覧ページの名称、URLの表示、閲覧日時を明記すること。
4．インターネットを含め他文献の丸写しは、絶対に行わないこと。
5．筆記試験は、テキスト内容の理解とともに、受講生自身の図書館における情報サービス対する認識を試す。

履修上の注意事項や学習上の助言

インターネットの利用を禁止しませんが、レポート課題に取り組む際には、最寄りの図書館を利用して、実際に図書館の情報サービスを活用しながら自分自身の図書館のイメージを育てましょう。また色々な図書館を見学して、図書館に対する自己の知見を広めることも大切です。テキストや参考文献で提示されている文献以外にも、幅広く図書館関係の文献を読みましょう。図書館の現状には全て歴史的な積み重ねがあります。現状の背景を理解することも大切です。

レポート課題

ヨコ書　ワープロ可　1600字

第1課題

いずれか1設題を選択

1 レファレンスサービスのプロセスを解説し、注意すべき点を述べなさい。

2 公立図書館における情報サービスの種類を解説し、その意義を述べなさい。

第2課題

いずれか1設題を選択

1 レファレンスブックの定義・種類を列挙し、それに応じた具体的な事例（書誌情報と特徴）を示しなさい。

2 図書館における紙媒体の情報探索とデジタルメディアの情報検索を比較し論じなさい。

No. J099

児童サービス論

坂部　豪

子どもの読書と図書館の役割

2単位　通信

履修条件

なし

学習の目標

児童（乳幼児からヤングアダルトまで）の発達と学習における読書の役割、年齢層別サービス、児童資料、児童サービスの実際、学校との協力等について理解する。特に公共図書館において重要な児童サービスについて、その本質、理念を学び、役割、活動の全体像をつかみ、主なジャンルの基本図書を知り、評価する態度を身につけることを目標とします。

学習の内容

児童サービスの意義、目的、役割を押さえ、児童サービス、運営についての基本的な事柄についての概説を理解します。そしてサービスを充実させるために基本的に知っておきたい資料を読み、解題、書評の作成方法を学びます。さらにヤングアダルトへのサービス、児童の学習における図書館サービス、学校・家庭・地域との連携のあり方についても考察します。

1．児童サービスの意義
2．発達と学習における読書の役割
3．児童資料の特色と選択：児童資料（わらべうた、絵本、幼年文学、昔話、神話、詩、ナンセンス文学、ファンタジー、歴史小説、知識の本）
4．児童コレクションの形成と管理
5．児童サービスの業務
6．児童サービスの方法・技術
7．児童サービスの展開：児童サービスの運営、児童のための施設と設備、児童サービス担当者の専門性・役割・知識
8．ヤングアダルトサービス
9．乳幼児サービス
10．子どもの読書活動の推進：学校・学校図書館との連携、地域社会との連携

テキスト教材

堀川照代編著『児童サービス論』（JLA図書館情報学テキストシリーズⅡ－11）（日本図書館協会）
『児童サービス論　学習指導書』（聖徳大学通信教育部）

参考書

東京子ども図書館編『私たちの選んだ子どもの本』（東京子ども図書館）
『児童図書館サービス１　運営・サービス論』（JAL図書館実践シリーズ18）（日本図書館協会）
『児童図書館サービス２　児童資料・資料組織論』（JAL図書館実践シリーズ19）（日本図書館協会）
テキスト、学習指導書に記載されている参考文献は、図書館等を活用して可能な限り多く読むことに努めてください。

評価の要点

1．レポートでは、児童サービスについて、自分の考えがどれほど深められたかを重視します。2．レポートの作成は、テキストのみや参考文献１点のみでなく、複数の文献を活用のこと。3．インターネットの利用の際は、URLの表示とともに閲覧月日を明記しましょう。4．文献の引用と自分の意見、考えとは文章上で明確に区分してください。5．筆記試験では、テキスト内容の理解とレポート課題取り組み成果が総合的に試されます。

履修上の注意事項や学習上の助言

児童サービスを行っている図書館を訪ね、観察し、また積極的に利用して、その利用体験がレポートをはじめ学習活動の向上に反映するよう努めてください。多くの児童資料を実際にひもとき、児童資料についての知識を広げましょう。

レポート課題

ヨコ書　ワープロ可　1600字

第１課題

いずれか１設題を選択

1　児童図書館員の専門性について、各自の考えを述べなさい。

2　各種児童サービスの方法と、それぞれの運営についてまとめなさい。

第２課題

いずれか１設題を選択

1　子どもにとって読書はなぜ必要か、できるだけ自分の体験をふまえながら、論じなさい。

2　子どもの読書活動の推進に関する動向と、その社会的意義と役割について論じなさい。

No. J100

情報サービス演習Ⅰ

石田　嘉和

デジタル情報とレファレンスブックの利用法

1 単位　面接

履修条件

「情報サービス論」単位履修者のみ受講可

学習の目標

情報サービスの基礎を理解し、多様な情報資源の特徴を踏まえ、図書館利用者の情報ニーズにマッチした情報資源を選択し、必要な情報を提供できる能力を身につける。

学習の内容

1．ガイダンス
2．情報検索の基礎、データベースの構造
3．検索語とキーワード
4．検索のプロセス、検索式
5．図書検索の演習
6．雑誌・雑誌記事検索演習
7．新聞・新聞記事検索演習
8．レファレンスブックの種類
9．レファレンスブックの評価法
10．言語・事柄・統計に関するレファレンスブック
11．歴史・日時に関するレファレンスブック
12．地理・地名に関するレファレンスブック
13．人物・団体・企業に関するレファレンスブック
14．法律・判例・特許に関するレファレンスブック
15．まとめ

テキスト教材

スクーリングテキストについては“聖徳通信”でお知らせします。

評価の要点

課題の発表・提出と筆記試験により行う。
課題発表時の評価は、質問に対して合理的なプロセスを経ているか、適切なレファレンスブックおよびWeb情報資源を使用しているかを評価し、回答書はそれに加えて各情報資源利用の習熟度をみる。
筆記試験は情報検索の基礎的理解度をみる。

履修上の注意事項や学習上の助言

PC使用に苦手意識を持つ方は、PCの操作に追われ本来の目的を果たせないことがある。事前に基本的なファイル操作、ブラウザ、Word、Excelなどの使用法を習得しておくこと。また、授業時USBメモリを持参すること。

No. J101

情報サービス演習Ⅱ

石田　嘉和

レファレンスサービスの実際を学ぶ

1 単位　面接

履修条件

「情報サービス論」単位修得者のみ受講可。「情報サービス演習Ⅰ」をすでに履修していることが望ましい。

学習の目標

情報サービスの基礎を理解し、多様な情報資源の特徴を踏まえ、図書館利用者の情報ニーズにマッチした情報資源を選択し、必要な情報を提供できる能力を身につける。

学習の内容

1．情報サービスにおけるレファレンスサービスの位置づけ
2．情報サービスの評価
3．演習の目的と注意事項、課題の発表・提出について
4．情報資源の探し方および演習
5．Webページ、Webサイトの探し方および演習
6．言葉・事柄・統計情報の探し方および演習
7．日時・歴史情報の探し方および演習
8．地理・地名・地図情報の探し方および演習
9．人物・企業・団体情報の探し方および演習
10．法律・判例・特許情報の探し方および演習
11．パスファインダーの意義・歴史・現状
12．印刷体パスファインダーの作成
13．Webパスファインダーの作成(1)
14．Webパスファインダーの作成(2)
15．まとめ

テキスト教材

スクーリングテキストについては“聖徳通信”でお知らせします。

評価の要点

課題発表時の評価と提出の回答書により評価する。発表時の評価は、質問に対して合理的なプロセスを経ているか、適切なレファレンスブックおよびWeb情報資源を使用しているかを評価し、回答書はそれに加えて各情報資源利用の習熟度をみる。パスファインダーの作成はその特徴を理解して作成されているか、完成度をみる。

履修上の注意事項や学習上の助言

「情報サービス演習Ⅰ」で使用した教科書を熟読し、各情報資源に触れておくこと。PCを使用するので基本的なファイル操作、ブラウザ、Word、Excelなどの使用法を事前に習得しておくこと。また、授業時USBメモリを持参すること。

No. J102

情報資源概論

山口　洋

図書館資料とは何か？

2単位　通信

履修条件

なし

学習の目標

図書館資料全般の特質と、その出版と流通、選択、選書ツール、保存管理の過程について理解する。また新しいメディアの特質やその利用等についても考える。

学習の内容

印刷資料・非印刷資料・電子資料とネットワーク情報資源からなる図書館情報資源について、類型と特質、歴史、生産、流通、選択、収集、保存、図書館業務に必要な情報資源に関する知識等の基本を学習する。

第１回　ガイダンス：図書館資料とは何か？
第２回　図書館資料の歴史：記録メディアと情報
第３回　印刷資料の類型と特質：図書、雑誌、新聞
第４回　非印刷資料の類型と特質
第５回　電子資料・ネットワーク情報資源の類型と特質
第６回　地域資料、行政資料、灰色文献
第７回　情報資源の生産（出版）と流通
第８回　図書館業務と情報資源
第９回　コレクション形成の理論⑴：資料の選択、収集、評価
第10回　コレクション形成の理論⑵：資料選択論
第11回　コレクション形成の方法：選択ツールの利用、選定・評価
第12回　人文・社会科学分野の情報資源とその特性
第13回　科学技術分野、生活分野の情報資源とその特性
第14回　資料の受入・除籍・保存・管理
第15回　まとめ

テキスト教材

馬場俊明編著『図書館情報資源概論』（JLA図書館情報学テキストシリーズ３;８）（日本図書館協会）

参考書

今まど子編著『図書館学基礎資料』第11版（樹村房）
前川恒雄・石井敦著『図書館の発見』新版（NHKブックス）（NHK）

評価の要点

1．レポート課題を通して図書館についての自分の考えをどれだけ深められたかを重視します。
2．レポート作成にあたっては、課題を的確に捉え、参考文献を踏まえてまとめられているかも評価します。テキストのみで作成されたレポートは評価しません。
3．インターネットの利用においては、ページの名称、URLの表示とともに閲覧日時を明記すること。
4．筆記試験では、教科書内容の理解を中心に試す。

履修上の注意事項や学習上の助言

インターネットの利用を禁止はしませんが、レポート課題に取り組む際には、最寄りの図書館などを利用して、実際の図書館のイメージを育てていくように努めましょう。また、色々な図書館を見学して、図書館に対する自らの知見を広めることも大切です。

レポート課題

ヨコ書　ワープロ可　1600字

第１課題

いずれか１設題を選択

1　選書における理論について論じなさい。

2　蔵書管理の過程を解説し、その必要性を論じなさい。

第２課題

いずれか１設題を選択

1　図書館資料の収集・提供と図書館の自由との関係について論じなさい。

2　収集方針の意義を論じなさい。また最寄りの公立図書館の収集方針を調査の上、要約して記述しなさい。

No. J103

情報資源組織論

小林　康隆

情報資源組織法の理論を学ぶ

2単位　通信

履修条件

「図書館概論」を修得していること

学習の目標

図書館が利用者に情報提供サービスを行うための基礎となる情報資源組織法の意義・目的・方法を理解する。情報の量的な変化（爆発的な増大）および媒体の多様化（ディジタル情報の普及）が進んだ現代に求められる情報資源組織法とはどのようなものかについて理解する。

学習の内容

図書館における情報資源組織法（目録法および主題組織法：分類法、件名法・含むシソーラス）の意義・目的と方法を概観し、その基本理論・考え方を学ぶと同時に、日本の多くの図書館で実際に使用されている、『日本目録規則　1987年版』、『日本十進分類法　新訂９版』、『基本件名標目表　第４版』の基本的な使用法を具体例に基づき習得する。さらに、コンピュータ化、ネットワーク化された最先端の情報資源組織法についても学習する。

1．情報資源組織法の意義・目的とその方法
2．目録と目録法の意義・役割
3．目録法の歴史的展開とその新しい動向
4．『日本目録規則　1987年版』の構成・特徴
5．主題組織法の意義および主題組織のプロセス
6．分類の基本原理および図書館分類法
7．分類法の種類
8．近代分類法出現以降の代表的な分類表
9．『日本十進分類法　新訂９版』の構成・特徴
10．分類作業と所在記号
11．語による主題組織法（自然語、シソーラス、件名標目表）
12．『基本件名標目表　第４版』の構成・特徴
13．図書館目録の機械化（コンピュータ目録）
14．ネットワーク情報資源の組織化
15．書誌コントロール

テキスト教材

田窪直規編『情報資源組織論』現代図書館情報学シリーズ９（樹村房）

参考書

那須雅熙『情報資源組織論および演習』（学文社）

評価の要点

レポートの評価：課題の要求しているポイントに対して的確に考察し、自分の意見で論述しているかどうかを評価の主要な観点とする。同時に、教科書以外の資料（参考文献）を利用してまとめていることをプラスの評価対象とする。

履修上の注意事項や学習上の助言

図書館のOPAC（オンライン閲覧目録）を体験してみて欲しい。また、国立情報学研究所（NII）のCiNii Booksや国立国会図書館のNDL Searchなど、インターネットを利用して自分で確認してみることが望ましい。

レポート課題

ヨコ書　ワープロ可　1600字

第１課題

1　情報資源組織法の目的・意義およびその方法について、今日の図書館サービスとも関連させ考察しなさい。

第２課題

1　目録の機械化・ネットワーク化とは何か、またそれによって図書館サービスはどのように変化したか、さらには今後の展望・課題について考察しなさい。

No. J104

情報資源組織演習Ⅰ

小林　康隆

図書館分類法演習

1 単位　面接

履修条件

「情報資源組織論」を修得していること

学習の目標

「情報資源組織論」で得た理論や知識をもとに分類作業の実務を体験し、図書館分類法への理解を一層深める。分類作業の実務的技術の習得を目標とするだけではなく、分類作業の中心的問題である「主題分析」の力を高めることに主眼をおいた演習とする。

学習の内容

日本のほとんどの図書館で採用されている『日本十進分類法　新訂９版』を用いた演習を行う。分類規程や補助表の使い方など、出来るだけ丁寧に解説しながら例題と演習問題を通して理解を深める。

1．日本十進分類法　新訂９版の体系、記号法
2．一般分類規程
3．一般補助表の適用法
4．歴史、伝記、地理（２類）：分類付与演習とその解説
5．哲学、宗教（１類）：分類付与演習とその解説
6．芸術（７類）：分類付与演習とその解説
7．言語（８類）：分類付与演習とその解説
8．文学（９類）：分類付与演習とその解説
9．社会科学（３類）：分類付与演習とその解説
10．自然科学（４類）：分類付与演習とその解説
11．技術（５類）：分類付与演習とその解説
12．産業（６類）：分類付与演習とその解説
13．総記（０類）：分類付与演習とその解説
14．要点の再確認・復習
15．試験

テキスト教材

スクーリングテキストについては“聖徳通信”でお知らせします。

評価の要点

面接授業の最後に試験を実施し、それによって評価する。

履修上の注意事項や学習上の助言

面接授業は、短時間に多くのことを集中的に学びます。復習をする時間的余裕がほとんど無いので、演習授業中にわからないことがあった場合には積極的に質問し、その場で理解するように心がけて欲しい。

No. J105

情報資源組織演習Ⅱ

岡田　靖

情報資源組織化の実践（記述目録法・メタデータ）

1 単位　面接

履修条件

「情報資源組織論」を修得済みであること。

学習の目標

「情報資源組織論」で学んだ目録法の理論を踏まえ、この演習では『日本目録規則　1987年版改訂３版』による目録作業、及びメタデータの作成を通じて、目録やメタデータを作成する能力を身につけ、書誌情報システムについて理解する。

学習の内容

記述目録法の概説を通じて、図書館における情報資源組織化の流れを理解する。次いで演習のツールとなる『日本目録規則1987年版改訂３版』の構成に従い、各事項について演習を行う。演習形式は、テキスト等にある各問題について、コンピュータ入力を想定したワークシートを完成させる方法による。記述部分は各書誌事項の確定と正確な記述、標目指示部分については適切な標目の選定と著者名典拠コントロールに留意する。

また、ネットワーク情報資源の組織化としてメタデータの作成法にも触れ、現在の書誌情報システムの概要を学ぶ。

１　記述目録法の概要
２　『日本目録規則1987年版改訂３版』による目録の演習
　⑴　目録法総則
　⑵　単行資料の記述
　　①記述に関する総則
　　②各書誌的事項の記述（タイトルと責任表示、版、資料の特性、出版・頒布等、形態、シリーズ、注記、標準番号）
　⑶　各種資料の記述（録音資料、映像資料、地図資料、マイクロ資料、電子資料、その他の資料）
　⑷　継続資料の記述（記述通則、各書誌的事項の記述）
　⑸　各種の記述様式（集合レベルの記録、構成レベル、物理単位の記録（別法））
　⑹　標目（標目総則、タイトル標目、著者標目、典拠ファイル）
　⑺　排列
３　メタデータの作成
４　書誌情報システムの概要

テキスト教材

スクーリングテキストについては“聖徳通信”でお知らせします。
なお、『日本目録規則　1987年版改訂３版』（日本図書館協会）及びワークシートのプリントは大学が用意する。

参考書

那須雅熙『情報資源組織論及び演習』（学文社）

評価の要点

授業時に与える課題及び試験結果で総合的に評価する。

履修上の注意事項や学習上の助言

技術的、専門的な言葉にめげず、緻密な作業に早く馴れるように努力してください。

No. J106

図書館サービス特論

山口　洋

利用者に役立つ図書館サービスを求めて

2単位　面接

履修条件

「情報サービス論」、「情報サービス演習Ⅰ」（同時期の受講可能）を受講済のこと。「情報サービス演習Ⅱ」を既に履修していることが望ましい。

学習の目標

図書館サービスに関する課題について具体的事例の分析、検討を行い、図書館におけるサービスのあり方について理解を深めるとともに、司書としてどの様な姿勢が求められるのか、自ら考えを深めることを目標とする。

学習の内容

今日の図書館は、図書館資料を用いて情報提供することで利用者の情報要求に応えるという使命を担っています。求められた情報を草の根分けても探し出し、提供するのが司書と言えます。図書館における各種サービスの様子や問題点を考え、具体的な事例を検討しながら利用者の要求にどのように応えるべきかを考えます。授業形態は、面接授業の機会を活かして、講義の他、グループ討論、プレゼンテーションなど個人学習では体験できない学習の諸形態を織り込みます。今までの学習の成果を試してみましょう。

＊＊授業内容は次の様に進める予定です。（一般教室とPC教室を適宜利用）
第１回　ガイダンス（自己紹介、授業内容の確認、学習指導）
第２回　図書館とは何か？（復習：構成要素、図書館の種類、図書館の自由）
第３回　図書館におけるサービス（図書館法、各種文献にみる事例）
第４回　図書館サービスの種類　①直接サービス
第５回　図書館サービスの種類　②間接サービス
第６回　情報検索に関するサービス　①図書情報の検索
第７回　情報検索に関するサービス　②雑誌記事等の検索
第８回　図書館の情報発信力を検討する　①図書館ホームページの調査
第９回　図書館の情報発信力を検討する　②図書館ホームページの検討
第10回　図書館の情報発信力を検討する　③学校教育と公立図書館の連携サービス
第11回　図書館の情報発信力を検討する　④公立図書館の障害者サービス
第12回　図書館の情報発信力を検討する　⑤民主的運営は実現するか
第13回　図書館サービスを提供する運営上の諸問題（運営形態とサービス）
第14回　今日の図書館が抱える問題にどの様に立ち向かうか（司書の役割、市民の役割、行政の責任）
第15回　まとめ

テキスト教材

スクーリングテキストについては“聖徳通信”でお知らせします。

参考書

今まど子編著『図書館学基礎資料　第11版』（樹村房）

評価の要点

講義及び演習を通して、数回の確認小レポートを課し、理解度や取組具合を中心に総合的に評価する。
特に演習では、グループ討論などを通してどれだけ自分自身の図書館に対する考えを深めることができたかを評価する。

履修上の注意事項や学習上の助言

テキストは事前に熟読の上、授業に臨んでほしい。公立図書館の本質を考える参考になる。
演習ではPCを利用する他、グループ討論や共同作業、プレゼンテーションも行う。日常の個人学習では得られない経験を通して、図書館に対する自らの考え、認識を大いに試して欲しい。そのためには、討論では積極的に参加するとともに、他受講生との交流を深め、自らの学習の糧にして欲しい。

No. J107

図書館文化史

山口　洋

書物と図書館の歴史を概観する

2単位　通信

履修条件

なし

学習の目標

図書の歴史、図書館の歴史の学習を通して、図書の持つ意義、図書館の歴史的な役割、今日の図書館がどの様にして形成されたのか？を考察し、司書としての図書と図書館に対する理解を深める。

学習の内容

図書の発生から普及、収集、保存や、図書館の発生から今日に至る歴史的変遷を概観し、図書と図書館についての理解を深めるとともに、今日の図書や図書館の在り方、意義についても考えを深める。

第１回　ガイダンス
第２回　文字と記録
第３回　書物の歴史１：記録メディアと書物の形態
第４回　書物の歴史２：紙の発明と製紙技術の伝播
第５回　書物の歴史３：印刷術の発明と書物
第６回　古代の図書館（バビロニアからローマ）
第７回　中世の図書館（キリスト教と図書館）
第８回　近世の図書館（ルネサンス期から啓蒙時代）
第９回　近代の図書館（市民社会の成立と図書館）
第10回　現代の図書館（19世紀から20世紀にかけて）
第11回　日本の図書館１：古代から中世
第12回　日本の図書館２：近世から近代（江戸時代から明治）
第13回　日本の図書館３：図書館法成立前後の図書館（昭和）
第14回　日本の図書館４：中小レポート以降（現代の図書館）
第15回　まとめ

テキスト教材

小黒浩司編著『図書・図書館史』（JLA図書館情報学テキストシリーズ３－11）（日本図書館協会）

参考書

今まど子編著『図書館学基礎資料』第11版（樹村房）
前川恒雄・石井敦著『図書館の発見』新版（NHKブックス）（NHK）

評価の要点

1．レポート課題を通して図書館についての自分の考えをどれだけ深められたかを重視します。
2．レポート作成にあたっては、課題を的確に捉え、参考文献を踏まえてまとめられているかも評価します。テキストのみで作成されたレポートは評価しません。
3．インターネットの利用においては、ページの名称、URLの表示とともに閲覧日時を明記すること。
4．筆記試験では、教科書内容の理解を中心に試す。

履修上の注意事項や学習上の助言

歴史分野の課題では、特に「なぜ？」の問いかけが大切です。なぜそうなったのか？その理由はなぜか？自問自答しながらレポート課題に取り組みましょう。

レポート課題

ヨコ書　ワープロ可　1600字

第１課題

1　戦後（1945年以降）、日本の公共図書館が急速に発展したのは、いつごろからか。また発展を促した要因についても論じなさい。

第２課題

いずれか１設題を選択

1　アメリカにおいていち早く公共図書館が誕生したのはなぜか？論じなさい。

2　記録メディアの変遷とそれに伴う書物の形態変化について説明しなさい。

No. J108

博物館概論

戸枝　敏郎

2単位　通信

履修条件

なし

学習の目標

博物館の目的や種類と機能などについて学ぶ。博物館をとりまく最近の諸状況なども概観し、博物館や学芸員について理解するとともに博物館に関する基礎的知識を習得する。

学習の内容

1．ガイダンス
2．博物館とは（博物館法などについての解説）
3．博物館の歴史（国内外の博物館の歴史についての解説）
4．博物館の分類（博物館を諸要件から分類する）
5．博物館の機能（博物館の特徴とその機能について解明する）
6．博物館の組織と運営（博物館の運営形態と活動を遂行する人的構成について説明する）
7．博物館の事業（博物館の設置目的と特徴づける事業や評価について解説する）
8．学芸員の実務（調査研究）
9．学芸員の実務（資料収集・整理保管・教育普等具体実務）
10．文化財の保護と博物館（有形・無形文化財や史跡、自然環境などの保護と活用と係わり）
11．博物館と地域社会（地域社会における博物館が果たす役割）
12．博物館の現状と課題（財政的、人的課題、統廃合問題）
13．博物館の実態（災害と博物館）
14．博物館の実態（MLA連携、博物館相互連携）
15．まとめ

テキスト教材

椎名仙卓著　『博物館学Ⅰ』（聖徳大学通信教育部）

参考書

加藤有次他『博物館学概論』（雄山閣）
大堀哲編『博物館学概論』（学文社）
『新時代の博物館学』全国大学博物館学講座（芙蓉書房）
鈴木眞理『改訂　博物館概論』（樹村房）
綱千善教編『博物館概説』（関西大学出版部）
清水久夫『博物館学Q&A』（慶友社）

評価の要点

レポート合格を条件とし、科目終了試験で評価する。

レポート課題

ヨコ書　ワープロ可　1600字

第1課題

いずれか1設題を選択

1　博物館を見学し、これからの博物館のあるべき姿を述べなさい。
2　博物館の機能をあげ、それぞれの関係を述べなさい。

第2課題

いずれか1設題を選択

1　どのような博物館のどのような学芸員になりたいか、博物館像、学芸員像を記しなさい。
2　マスコミ等に取り上げられた博物館について紹介し、自分なりの意見を述べなさい。
3　博物館法制定の歴史をふまえ、その主旨を述べなさい。

No. J109

博物館経営論

松尾　昌彦

2単位　通信

履修条件

なし

学習の目標

博物館は生涯学習の重要な拠点である。博物館は国公立・私立を問わず、それぞれ設置者が意図する設立趣旨（設置理念）に基づいて経営がなされている。受講者は、その経営について、どのように対処すべきかを学習する。

学習の内容

博物館の学芸員は、その経営の一端を担っていくにあたり、利用者側の視点にたって、展示事業をはじめとして、各種の事業を企画して実施するのもである。その成果はたえず評価し、次に企画する事業に反映させていかなければならない。受講者には各種の事業の展開や施設の運営・管理について、包括的に知識の習得をはかるようにする。

1．博物館とは
2．博物館の発達史
3．博物館法について
4．博物館の発達
5．博物館の組織
6．展示事業
7．教育普及活動
8．博物館資料
9．学校教育との連携
10．他の社会教育との連携
11．博物館の広報活動
12．博物館の予算編成
13．博物館の施設
14．来館者の調査
15．博物館における評価

テキスト教材

『博物館学Ⅲ―博物館の運営について―』（聖徳大学通信教育部）

参考書

小林克『新博物館学―これからの博物館経営―』（同成社）

評価の要点

教科書に加えて、関連する博物館学の書籍を通じて博物館の現状を充分把握した上で、博物館に足を運び、その知識を実際に確認することが求められる。「自分だったらどう経営するか」という当事者意識を持って学習することが重要である。

レポートについては、課題を的確に捉え、参考文献なども踏まえてまとめているかを評価する。

科目終了試験については論述が中心であるが、博物館経営の実態を踏まえた具体的な内容であることが求められる。

履修上の注意事項や学習上の助言

多くの博物館を実地に見学し、博物館経営の実際を知ること。書籍だけの知識では、具体的な博物館経営をイメージすることはできない。

レポート課題

ヨコ書　ワープロ可　1600字

第1課題

1　博物館における展示事業と教育普及事業について、どのように立案して運営するか述べなさい。

第2課題

1　博物館における学校教育、社会教育との連携について述べなさい。

No. J110

博物館資料論

戸枝　敏郎

2単位　通信

履修条件

なし

学習の目標

我国の近代博物館は、明治初期に欧州の近代的な博物館思想を導入して発達してきた。しかしこれらの博物館を運営するにしても法令が制定されなかったため、充分その目的を達しなかった。博物館法が戦後になって公布されたが、そのなかには、「博物館資料」の重要性が明記されており、その資料の価値や重要性を理解させる。

学習の内容

博物館の存在価値は所有するモノ（資料）にあるといえる。
博物館はモノ（資料）を収集し、新たな価値（情報）を生み出し、市民への知識の普及を図っている。博物館のもつ資料の収集、資料の整理保管、調査研究、教育普及等４つの機能は、それぞれ独立しているが博物館資料を介して直接関連していることを学ぶ。

第１回　ガイダンス　授業のねらい、博物館資料と博物館の役割
第２回　博物館と資料　博物館活動と博物館資料の関係について理解させる
第３回　博物館資料の収集　資料の収集方法について理解させる
第４回　博物館資料の種類(1)　館種別博物館と博物館資料について
第５回　博物館資料の種類(2)　博物館にとっての一次資料・二次資料とは、その相違と重要性について
第６回　博物館資料の整理(1)　各資料の受入から調書作成までを理解させる
第７回　博物館資料の整理(2)　資料の登録、整理保管方法について解説する
第８回　博物館資料の修復　ダメージを負った資料について各種の修復、修理について解説する
第９回　博物館資料の保存(1)
第10回　博物館資料の保存(2)　資料を良好な状態で保存するために必要な施設、設備、機材などを解説し、理解させる
第11回　博物館資料の保存(3)
第12回　博物館資料の安全対策　資料のリスクマネージメントについて実例をもとに解説する
第13回　博物館資料の活用(1)
第14回　博物館資料の活用(2)　調査研究、展示、教育普及活動の資料がどのように活用されているのかを解説する
第15回　まとめ

テキスト教材

『博物館学Ⅲ―博物館の運営について―』（聖徳大学通信教育部）

参考書

『新版博物館講座５　博物館資料論』（雄山閣出版）
『博物館で学ぶ』（東海大学出版会）
岡山健仁『博物館モノ〈資料〉語り』（創風社出版）
内川隆志『博物館資料の修復と製作』（雄山閣出版）
田辺　悟『現代博物館論』（暁印書店）
段木一行『博物館資料論と調査』（雄山閣出版）

評価の要点

テキストを十分に読み、課題に沿って論述しているかが評価の観点になります。

履修上の注意事項や学習上の助言

博物館法をよく読んで各種の異なる博物館がそれぞれ所有する資料の特性と、収集管理、活用の現状について情報を持ち理解する。

レポート課題

ヨコ書　ワープロ可　1600字

第１課題

1　博物館資料の一次資料と二次資料について述べなさい。

第２課題

1　館種の異なる博物館２館を選び、資料の特性と資料収集方法について述べなさい。

No. J111

博物館資料保存論

戸枝　敏郎

2単位　通信

履修条件

なし

学習の目標

博物館の究極の目的である博物館資料の保存を、資料の特性と保存、展示環境を科学的に捉えるとともに保存と展示という本来矛盾した博物館活動を円滑に行い、貴重な資料を良好な状態で保存するための基礎を学ぶ。

学習の内容

博物館は資料を保存し後世に伝える役割を理解し、展示に活用される場合や収蔵庫での保管状況の把握と資料を良好な状態で保全する方法などについて学ぶ

第１回　ガイダンス　博物館資料とは何かについて理解させる
第２回　資料保存の意義　博物館資料には有形無形のものがありその保存について理解させる
第３回　展示および収蔵資料の現状　博物館資料には展示を目的とするものと、教育・研究を目的とする相違を理解させる
第４回　資料の修復と修理　資料の破損とその修復や修理の基本的な方法を理解させる
第５回　資料の梱包と輸送　資料の梱包方法や材料の実用性について理解させる
第６回　生物被害と資料保存
第７回　自然災害と資料保存
第８回　人的災害と資料保存
（博物館資料は良好な条件で保管しなければ劣化することがある　それが何が原因でどの様に劣化したのかを実例を示しながら理解させる）
第９回　伝統的資料保存方法　我が国固有の文化財は保存だけを目的としたものがある
第10回　IPM（総合的有害生物管理）　有害となる昆虫類とその侵入阻止、駆除を理解させる
第11回　博物館収蔵庫の保存環境
第12回　展示室における保存環境
（同じ博物館資料を保存するにも展示室と収蔵庫では温度が異なる　その対策などを理解させる）
第13回　光による資料の劣化　光源の変遷などを理解させ、その取り扱い方などを実物で解説する
第14回　環境保護と博物館　エコ・ミュージアムについて理解させる
第15回　まとめ　博物館資料には実物標本だけでなく模造品も活用している

テキスト教材

『博物館資料保存論』（みみずく舎）
『博物館・美術館の生物学』（雄山閣出版）

参考書

『文化財害虫事典』（クバプロ）
『美術工芸品の保存と保管』（フジテクノシステム）
『文化財保存科学の原理』（丹青社）
杉山真紀子『博物館の害虫防除ハンドブック』（雄山閣）

評価の要点

テキストを十分に読み、課題に沿って論述しているかが評価の観点になります。

履修上の注意事項や学習上の助言

博物館は活動するために、博物館資料を保存しながら活用している。そこにはどのような要件が存在しているのかを、館種の異なる博物館を多く見学し博物館資料の特性とその保存について考察する。

レポート課題

ヨコ書　ワープロ可　1600字

第１課題

1　展示室・収蔵庫における資料保存について述べなさい。

第２課題

1　IPM（総合的有害生物管理）について述べなさい。

No. J112

博物館展示論

椎名　仙卓

博物館展示とは何か、その意義と実際

2単位　通信　面接

履修条件

スクーリング受講はレポート提出後の方が望ましい。

学習の目標

博物館における展示の意義とは何か、博物館の展示は実際にどのように行われるのか、展示を通じて何が伝えられるのかなどについて理論や方法を学習し、さらに博物館展示の手法、企画、制作に関する基礎的知識を習得する。

学習の内容

展示の歴史的変遷や展示形態さらには展示手法など、メッセージの伝達方法としての展示を理解し、博物館展示を論評できる知識と判断力を身につける。スクーリングについては、以下の内容で行うが、あらかじめレポート課題を提出し基礎的学習をしっかりと行うこと。

第１回　ガイダンス
第２回　博物館における知識やメッセージのコミュニケーションツールとしての展示の位置づけ、役割
第３回　調査研究成果の還元における展示の役割
第４回　展示の歴史（博物館の原型から近代的展示まで）
第５回　展示の影響（社会的責任、それが故の公平性）
第６回　展示の分類（場所・期間・内容・形態・表現手段における展示分類）
第７回　展示の手法と道具（見せ方の基本、視線の範囲・動線の設定・ケース・展示台・ラベル・パネル・照明など）
第８回　展示の企画立案（基本構想・基本設計・実施設計・製作施工・開館、経費調達と業者選定）
第９回　関係者との協力（他館および所蔵者による資料協力（寄贈・寄託・貸与）、専門業者によるレプリカ制作など）
第10回　展示評価（外部評価と内部評価、制作・評価・改良のサイクル）
第11回　展示の改良と展示更新（展示更新のサイクル、内容の更新・劣化による更新）
第12回　展示解説パネルの目的と内容（パネルの分類、文字の大きさ・字数など）
第13回　人と機械による展示解説（ギャラリートーク・ギャラリーツアー、映像による解説、模型による解説など）
第14回　展示解説書の目的と内容（展示図録パンフレット、WEBオンライン解説など）
第15回　まとめ

テキスト教材

椎名仙卓著『博物館学Ⅱ（７章～11章）』（聖徳大学通信教育部）

参考書

加藤有次他編『新版博物館学講座９博物館展示法』（雄山閣）
デビット・ディーン著、北里監訳『美術館・博物館の展示』（丸善株式会社）
日本展示学会編『展示論－博物館の展示を作る－』（雄山閣）

評価の要点

・レポートについては、課題を的確に捉え、参考文献もふまえてまとめているかで評価する。
・科目修了試験については論述中心とし、要点をふまえて学んだ理論や手法だけでなく、自分自身の考え主張を述べること。
・スクーリング最終日に論述式試験を行う。ただしテキストやノートの持ち込みを可とする。

履修上の注意事項や学習上の助言

・レポート提出にあたっては、テキストを熟読し、疑問点は図書館で調べるなどの努力を行うこと。
・科目修了試験にあたっては、字数を守り、誤字脱字のないように推敲すること。
・スクーリング受講にあたっては、あらかじめテキストを通読しておくこと。

レポート課題

ヨコ書　ワープロ可　1600字

第１課題

1　博物館における展示の役割について、実例を挙げて解説せよ。

No. J113

博物館情報・メディア論

土橋　永一

2単位　通信

履修条件

なし

学習の目標

・博物館の展示における多様な情報の形態とメディアの果たしている役割について、事例をもとに説明することができる。
・文字メディア、映像メディア、電子メディアの特質について説明することができる。
・博物館における「情報のデジタル化」の意義について、例を挙げて説明することができる。
・博物館と社会をつなぐ情報・メディアのあり方について、事例をもとに説明することができる。

学習の内容

1．博物館を支える多様なメディア
2．メディアの種類と学習経験
3．文字メディアの果たす役割
4．絵図、写真メディアの果たす役割
5．映像メディアの果たす役割
6．インタラクティブ・メディアの果たす役割
7．博物館とデジタルアーカイブ
8．博物館と情報ネットワーク
9．情報発信とソーシャルネットワークサービス
10．展示を支えるメディア
11．展示とワークシートの果たす役割
12．イベントを支えるメディア
13．教育活動を支えるメディア
14．博物館と知的財産
15．学びをつなぐ博物館

テキスト教材

『博物館情報・メディア論』（聖徳大学通信教育部）

参考書

小笠原喜康編著『博物館の学びをつくりだす』（ぎょうせい）
リュック・ブノワ著、水嶋英治訳『博物館学への招待』（白水社）
斎藤嘉博著『メディアの技術史』（東京電機大学出版会）

評価の要点

・レポートは、まず、課題に示した条件が達成できているかどうかを評価します。そして、ご自身で積み上げた学習の成果を評価します。
・科目終了試験は、論述された解答をもとに、理解の深さを評価します。

履修上の注意事項や学習上の助言

・ご自身の経験を大切にして学習を進めてください。
・身の回りにあるメディアの具体的な姿を考察の対象にしてください。
・できれば、博物館の展示やホームページに触れる機会があると、理解が深まると思います。

レポート課題

ヨコ書　ワープロ可　1600字

第1課題

1　近くの博物館や資料館等を訪れ、その展示スペースでどのようなメディア（実物、模型、文字、写真、映像など）がどのように使われているか調べ、それぞれのメディアの果たしている役割についてまとめなさい。

第2課題

1　博物館や資料館等のホームページを閲覧し、そこで得た具体的な事例をもとに、博物館の活動と情報ネットワークの活用について考察しなさい。

No. J114

博物館教育論

倉田　恵津子

2単位　通信

履修条件

「博物館概論」単位取得者が望ましい。

学習の目標

博物館における教育活動の基盤となる理論や実践に関する知識と方法を習得し、博物館の教育機能に関する基礎的能力を養い、博物館における教育の意義と目的について理解を深める。

学習の内容

博物館における教育活動の基礎的事項について学び、博物館学芸員としての基礎力を養成する。

1．博物館教育の意義と目的
2．博物館教育の歴史
3．博物館における教育活動の大系
4．博物館教育の手法(1) 展示および展示関連活動
5．博物館教育の手法(2) 館内活動
6．博物館教育の手法(3) 館外活動
7．博物館教育活動の企画と実施
8．博物館と学校教育
9．生涯学習と博物館
10．博物館と地域社会
11．博物館におけるボランティア
12．博物館の連携
13．博物館の利用
14．博物館利用者の実態
15．博物館における学び

テキスト教材

小笠原喜康・並木美砂子・矢島國雄編『博物館教育論　新しい博物館教育を描き出す』（ぎょうせい）

参考書

寺島洋子・大高幸『博物館教育論』（財団法人 放送大学教育振興会）
加藤有次他編「生涯学習と博物館活動」『新版・博物館学講座＜第10巻＞』（雄山閣）
伊藤寿朗『市民のなかの博物館』（吉川弘文館）
小菅正夫「＜旭山動物園＞革命―夢を実現した復活プロジェクト」『角川ONEテーマ21』A-46（角川書店）
蓑　豊「超・美術館革命―金沢21世紀美術館の挑戦」『角川ONEテーマ21』A-66（角川書店）

評価の要点

①テキストや参考書をよく読み、自分の考えをまとめて下さい。
②博物館における教育活動の実態について複数の博物館の年報・行事案内などの刊行物やインターネットを利用して情報を収集し、その分析結果をレポートに反映させて下さい。

履修上の注意事項や学習上の助言

博物館における調査・研究、資料収集・保存、展示、教育の諸活動は独立したものではなく、それぞれが有機的なつながりをもち機能しているので、常に博物館活動全体のなかに教育活動を位置づけ、学んで下さい。

また、一連の博物館学科目は勿論のこと関連分野にも目を向けるとともに、自己の研究領域における博物館の役割を常に意識しながら学んで欲しい。そして、様々な博物館を利用するなかで、各博物館が教育活動にどのように取り組んでいるのかを、比較検討しつつ講義内容を考察することが重要です。

レポート課題

ヨコ書　ワープロ可　1600字

第1課題

1　博物館における教育活動の意義と目的について述べなさい。

第2課題

1　博物館における教育活動について述べなさい。

No. J115

博物館実習

戸枝　敏郎

展示資料の作成・展示技術の習得／博物館施設における現場実習

4単位　面接

履修条件

事前指導受講までに、「生涯学習概論」・「博物館概論」・「博物館経営論」・「博物館資料論」・「博物館資料保存論」・「博物館展示論」の単位修得が必要

学習の目標

博物館学芸員の業務を実践的に経験することによって、これまで学んできた科目の知識（理念・設置目的・業務手順等）に対する理解を深めるとともに、学芸員に必須の最低限の技術を習得することを目的とする。

学習の内容

見学実習（実習事前・事後指導）

・事前指導

1．基本的な講義：実務を始める前に「博物館資料」とは何か、その概要を解説する。

2．実習の内容：A．美術資料、特に軸物の取り扱いと展示の仕方　B．仏像などの採寸と梱包の仕方　C．展示パネル、説明パネルの作り方・製作した展示パネルを聖徳博物館で仮展示する　D．アンモナイトのレプリカ作り　E．拓本のとり方（湿拓）

・事後指導

1．実務実習終了後、事後指導として、特別展の企画からパンフレット作成までを学習する。

実務実習

実習先の選定：原則として各自で実習先を選定する

実習の期間：2週間（博物館側の都合により増減は可）

実習内容：実習する博物館が提示した業務内容を行う。実習期間中は定められた日録を指導学芸員に提示し指示を得る。

実習の終了：所定の実習を終了した場合は、実習中の日録を通信教育学務課に提出する。実習期間中に借用した文献資料などは実習終了日までに必ず返却する。

参考書

田邊三郎助監修『美術工芸品の保存と保管』（株式会社フジ・テクノシステム）

評価の要点

実務実習館における日録、実習終了後における面接あるいはレポート（実習感想文）、事前・事後指導中に指示するレポート、出席時の学習態度、これらを総合的に判断して評価する。

履修上の注意事項や学習上の助言

①実習事前・事後指導の内容は都合により変更することがある。
②実習事前・事後指導で使用する材料や器具は本学で用意する。
③実務実習では、他校の実習生と共に行動する場合が多い。聖徳大学通信教育部の学生であることに誇りをもって実習する。

比較文化・異文化間コミュニケーション専用レポート課題解答用紙

※必ずコピーして使用してください。

科目名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿	第　　課題	第　　設題

学籍番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

キリトリ

※提出にあたっては、「履修と学習の手引」巻末のレポート提出票・講評欄、課題名（設題名）・参考文献欄を添付のこと。
※「その他のレポートの送付について」の形式に沿って提出してください。